

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2019-517086

(P2019-517086A)

(43) 公表日 令和1年6月20日 (2019. 6. 20)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
G 0 6 F 13/00 (2006. 01)	G 0 6 F 13/00 6 5 0 B	5 B 0 8 4
G 0 6 F 21/62 (2013. 01)	G 0 6 F 21/62	5 L 0 4 9
G 0 6 Q 50/00 (2012. 01)	G 0 6 Q 50/00 3 0 0	
G 0 6 Q 30/06 (2012. 01)	G 0 6 Q 30/06 3 4 0	

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 66 頁)

(21) 出願番号	特願2019-503899 (P2019-503899)	(71) 出願人	508178054 フェイスブック、インク。 アメリカ合衆国 カリフォルニア 940 25, メンロー パーク, ウィロー ロード 1601
(86) (22) 出願日	平成28年12月30日 (2016. 12. 30)	(74) 代理人	100105957 弁理士 恩田 誠
(85) 翻訳文提出日	平成30年11月13日 (2018. 11. 13)	(74) 代理人	100068755 弁理士 恩田 博宣
(86) 国際出願番号	PCT/US2016/069405	(72) 発明者	ローゼンバーグ、セス ギャレット スタ インバーグ アメリカ合衆国 94025 カリフォル ニア州 メンロー パーク ウィロー ロ ード 1601 フェイスブック、インク 、内
(87) 国際公開番号	W02017/180213		
(87) 国際公開日	平成29年10月19日 (2017. 10. 19)		
(31) 優先権主張番号	62/321, 082		
(32) 優先日	平成28年4月11日 (2016. 4. 11)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		
(31) 優先権主張番号	15/394, 101		
(32) 優先日	平成28年12月29日 (2016. 12. 29)		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 メッセージングエージェントプラットフォームのための技術

(57) 【要約】

メッセージングエージェントプラットフォームのための技術を説明する。一実施形態において、装置は仲介サーバを備え、前記仲介サーバは、エンティティに関連付けられているフロントエンドアプリケーションに、メッセージングシステム内のエンティティの表現物に関してメッセージングシステム内のユーザアカウントを識別するページスコープ識別子を送信し、メッセージングシステム内のエンティティの表現物に関連付けられている連絡アプリケーションからの、ページスコープ識別子を求めるユーザ情報要求を仲介サーバで受信し、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定し、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するように構成される。他の実施形態が記載され、請求される。

Consumer-to-Business Messaging System 100

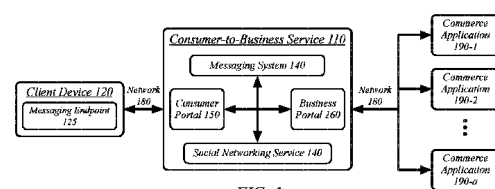


FIG. 1

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ページスコープ識別子を、商業仲介サーバから、商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、前記商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、前記ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の前記商業エンティティの商業表現物に関して前記メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、

商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、前記商業仲介サーバで受信するステップであって、前記商業連絡アプリケーションは、前記メッセージングシステム内の前記商業エンティティの前記商業表現物に関連付けられており、前記ユーザ情報要求は、前記ページスコープ識別子を求める、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求に応答して前記商業仲介サーバから前記商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求を拒否するステップと、

を含むコンピュータ実装方法。

【請求項 2】

前記ユーザアカウントに関連して、前記商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、

前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記ページスコープ識別子を生成するステップと、

前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、前記クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、

前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを前記クライアントデバイスから受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、

前記ウェブプラグインに関連して前記ユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、

前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、

前記商業フロントエンドアプリケーションから受信した前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとが一致したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、前記商業からユーザへのメッセージは、前記ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、

前記ページスコープ識別子に基づいて、前記ユーザアカウントを識別するステップと、

前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに前記商業からユーザへのメッセージを送信するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

ユーザから商業へのメッセージを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージは、前記商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

デバイス上のプロセッサ回路と、

商業仲介サーバと、を備える装置であって、

前記商業仲介サーバは、前記プロセッサ回路上で、ページスコープ識別子を商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、前記商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、前記ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の前記商業エンティティの商業表現物に関して前記メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、前記商業仲介サーバで受信するステップであって、前記商業連絡アプリケーションは、前記メッセージングシステム内の前記商業エンティティの前記商業表現物に関連付けられており、前記ユーザ情報要求は、前記ページスコープ識別子を求める、ステップと、前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求に応答して前記商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求を拒否するステップとを行うように構成される、装置。

【請求項 9】

前記商業仲介サーバは、前記ユーザアカウントに関連して、前記商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記ページスコープ識別子を生成するステップと、前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記商業仲介サーバは、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、前記クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを前記クライアントデバイスから受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

前記商業仲介サーバは、前記商業エンティティに関連付けられているウェブページのウ

10

20

30

40

50

ウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、前記ウェブプラグインに関連して前記ユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記商業仲介サーバは、前記商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、前記商業フロントエンドアプリケーションから受信した前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとが一致したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

10

【請求項 1 3】

前記商業仲介サーバは、商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、前記商業からユーザへのメッセージは、前記ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、前記ページスコープ識別子に基づいて、前記ユーザアカウントを識別するステップと、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに前記商業からユーザへのメッセージを送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 1 4】

前記商業仲介サーバは、ユーザから商業へのメッセージを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージは、前記商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 8 に記載の装置。

20

【請求項 1 5】

実行されたときに、

ページスコープ識別子を、商業仲介サーバから、商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、前記商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、前記ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の前記商業エンティティの商業表現物に関して前記メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、

30

商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、前記商業仲介サーバで受信するステップであって、前記商業連絡アプリケーションは、前記メッセージングシステム内の前記商業エンティティの前記商業表現物に関連付けられており、前記ユーザ情報要求は、前記ページスコープ識別子を求める、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求に応答して前記商業仲介サーバから前記商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、

40

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求を拒否するステップと、

をシステムに行わせる命令を含む、少なくとも 1 つのコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 1 6】

実行されたときに、

ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、前記クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、

50

前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを前記クライアントデバイスから受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をシステムに行わせる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 17】

実行されたときに、

前記商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、

前記ウェブプラグインに関連して前記ユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をシステムに行わせる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 18】

実行されたときに、

前記商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、

前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、

前記商業フロントエンドアプリケーションから受信した前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとが一致したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をシステムに行わせる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 19】

実行されたときに、

商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、前記商業からユーザへのメッセージは、前記ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、

前記ページスコープ識別子に基づいて、前記ユーザアカウントを識別するステップと、

前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに前記商業からユーザへのメッセージを送信するステップと、

をシステムに行わせる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 20】

実行されたときに、

ユーザから商業へのメッセージを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージは、前記商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップと、

をシステムに行わせる命令をさらに含む、請求項 15 に記載のコンピュータ可読記憶媒体。

【請求項 21】

ページスコープ識別子を、商業仲介サーバから、商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、前記商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、前記ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の前記商業エンティティの商業表現物に関して前記メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、

商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、前記商業仲介サーバで受信するス

10

20

30

40

50

トップであって、前記商業連絡アプリケーションは、前記メッセージングシステム内の前記商業エンティティの前記商業表現物に関連付けられており、前記ユーザ情報要求は、前記ページスコープ識別子を求める、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求に応答して前記商業仲介サーバから前記商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、

前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求を拒否するステップと、

を含むコンピュータ実装方法。

【請求項 2 2】

前記ユーザアカウントに関連して、前記商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、

前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記ページスコープ識別子を生成するステップと、

前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 2 1 に記載の方法。

【請求項 2 3】

ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、前記クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、

前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを前記クライアントデバイスから受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 2 1 または 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 4】

前記商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、

前記ウェブプラグインに関連して前記ユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 2 1 ～ 2 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 5】

前記商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、

前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、

前記商業フロントエンドアプリケーションから受信した前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとが一致したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップと、

をさらに含む、請求項 2 1 ～ 2 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 6】

商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、前記商業からユーザへのメッセージは、前記ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、

前記ページスコープ識別子に基づいて、前記ユーザアカウントを識別するステップと、

前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに前記商業からユーザへのメッセージを送信するステップと、

をさらに含む、請求項 2 1 ～ 2 5 のいずれか一項に記載の方法。

10

20

30

40

50

【請求項 27】

ユーザから商業へのメッセージを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージは、前記商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、

前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップと、

をさらに含む、請求項 21～26 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 28】

デバイス上のプロセッサ回路と、

商業仲介サーバと、を備える装置であって、

前記商業仲介サーバは、前記プロセッサ回路上で、ページスコープ識別子を商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、前記商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、前記ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の前記商業エンティティの商業表現物に関して前記メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、前記商業仲介サーバで受信するステップであって、前記商業連絡アプリケーションは、前記メッセージングシステム内の前記商業エンティティの前記商業表現物に関連付けられており、前記ユーザ情報要求は、前記ページスコープ識別子を求める、ステップと、前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求に応答して前記商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、前記ユーザ情報要求を拒否するステップとを行うように構成される、装置。

【請求項 29】

前記商業仲介サーバは、前記ユーザアカウントに関連して、前記商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記ページスコープ識別子を生成するステップと、前記ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28 の装置。

【請求項 30】

前記商業仲介サーバは、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、前記クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを前記クライアントデバイスから受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28 または 29 の装置。

【請求項 31】

前記商業仲介サーバは、前記商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、前記ウェブプラグインに関連して前記ユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーションに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28～30 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 32】

前記商業仲介サーバは、前記商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、前記商業フロントエンドアプリケーションから受信した前記電話番号記録と前記ユーザアカウントとが一致したことに応答して、前記商業フロントエンドアプリケーシ

ョンに前記ページスコープ識別子を送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28～31 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 33】

前記商業仲介サーバは、商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、前記商業からユーザへのメッセージは、前記ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、前記ページスコープ識別子に基づいて、前記ユーザアカウントを識別するステップと、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに前記商業からユーザへのメッセージを送信するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28～32 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 34】

前記商業仲介サーバは、ユーザから商業へのメッセージを、前記ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージは、前記商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、前記ユーザアカウントの前記ページスコープ識別子についての前記ユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップとを行うようにさらに構成される、請求項 28～33 のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 35】

実行されたときに、請求項 21 から 27 のいずれか一項に記載の方法をシステムに行わせる命令を含む、少なくとも 1 つのコンピュータ可読記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、メッセージングエージェントプラットフォームのための技術に関する。

【背景技術】

【0002】

ユーザは、メッセージングシステムにおいて、2 人以上のユーザ間でテキストベースの会話で互いにメッセージをやりとりしながら互いに対話することができる。ユーザは、メッセージングシステムにおいて自身に関連付けられたユーザアカウントを有してもよく、ユーザアカウントは、ユーザのオンライン識別情報、ユーザに向けられたメッセージの宛先を提供し、一般にメッセージングシステムへのユーザのアクセスとその使用を調整する。ユーザは、モバイルデバイス（例えば、携帯電話）、デスクトップコンピュータ、ウェブブラウザ、専用のメッセージングクライアントなどを含む多様なエンドポイントからメッセージングシステムにアクセスすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0003】

【図 1】 消費者・企業間のメッセージングシステムの一実施形態を示す図。

【図 2】 ソーシャルグラフの一実施形態を示す図。

【図 3 A】 企業のウェブページのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 B】 開始メッセージを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 C】 ユーザメッセージおよび応答ボットメッセージを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 D】 ユーザメッセージおよび応答ボットメッセージを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 E】 カルーセルを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 F】 スクロールされたカルーセルを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 3 G】 注文テンプレートを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一

10

20

30

40

50

実施形態を示す図。

【図 3 H】注文受付メッセージを表示するメッセージスレッドのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 4 A】検索のためのユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 4 B】検索結果のユーザインタフェースの一実施形態を示す図。

【図 5】メッセージング動作に関わる消費者・企業間のメッセージングシステムの一実施形態を示す図。

【図 6 A】図 1 のシステムの第 1 論理フローの一実施形態を示す図。

【図 6 B】図 1 のシステムの第 2 論理フローの一実施形態を示す図。

【図 6 C】図 1 のシステムの第 3 論理フローの一実施形態を示す図。

【図 6 D】図 1 のシステムの第 4 論理フローの一実施形態を示す図。

【図 7】一実施形態の図 1 のシステムに関する集中型システムを示す図。

【図 8】一実施形態の図 1 のシステムに関する分散型システムを示す図。

【図 9】一実施形態のコンピューティングアーキテクチャを示す図。

【図 10】一実施形態の通信アーキテクチャを示す図。

【図 11】一実施形態の無線デバイスアーキテクチャを示す図。

【発明を実施するための形態】

【0004】

以下は、本明細書に記載されるいくつかの新規の実施形態の基本的な理解を提供するために、簡単な概要を提示する。この概要は、包括的な概観ではなく、本発明の主要／重要要素を指定することも、本発明の範囲を画定することも意図していない。後に提示されるより詳細な説明への前置きとして、いくつかの概念を簡単な形態で提示する。

【0005】

様々な実施形態は、全体として、メッセージングエージェント対話のための技術に向けられている。いくつかの実施形態は、特に、メッセージングクライアント内の商業対話に関するメッセージングエージェント対話のための技術に向けられている。

【0006】

一実施形態では、例えば、装置は、商業仲介サーバデバイスを備え得る。別の実施形態では、例えば、装置はクライアントデバイスを備え得る。他の実施形態が記載され、請求される。

【0007】

一実施形態では、例えば、コンピュータ実装方法は、ページスコープ識別子を、商業仲介サーバから、商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、商業仲介サーバで受信するステップであって、商業連絡アプリケーションは、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられており、ユーザ情報要求は、ページスコープ識別子を求める、ステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して商業仲介サーバから商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求を拒否するステップとを含み得る。

【0008】

一実施形態では、例えば、方法は、ユーザアカウントに関連して、商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、ページスコープ識別子を生成するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信

10

20

30

40

50

するステップとをさらに含み得る。

【0009】

一実施形態では、例えば、上記方法のいずれもさらに、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しをクライアントデバイスから受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを含み得る。

【0010】

一実施形態では、例えば、上記方法のいずれもさらに、商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ウェブプラグインに関連してユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを含み得る。

【0011】

一実施形態では、例えば、上記方法のいずれもさらに、商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、電話番号記録とユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、商業フロントエンドアプリケーションから受信した電話番号記録とユーザアカウントとが一致したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを含み得る。

【0012】

一実施形態では、例えば、上記方法のいずれもさらに、商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、商業からユーザへのメッセージは、ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、ページスコープ識別子に基づいて、ユーザアカウントを識別するステップと、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに商業からユーザへのメッセージを送信するステップとを含み得る。

【0013】

一実施形態では、例えば、上記方法のいずれも、ユーザから商業へのメッセージを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、ユーザから商業へのメッセージは、商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップとを含み得る。

【0014】

一実施形態では、例えば、装置は、デバイス上のプロセッサ回路と、商業仲介サーバとを備えてもよく、前記商業仲介サーバは、前記プロセッサ回路上で、ページスコープ識別子を商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、商業仲介サーバで受信するステップであって、商業連絡アプリケーションは、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられており、ユーザ情報要求は、ページスコープ識別子を求める、ステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して、商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求を拒否するステップを行うように構成される。

10

20

30

40

50

【0015】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、ユーザアカウントに関連して、商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、ページスコープ識別子を生成するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0016】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、前記ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しをクライアントデバイスから受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0017】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ウェブプラグインに関連してユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0018】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、電話番号記録とユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、商業フロントエンドアプリケーションから受信した電話番号記録とユーザアカウントとが一致したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0019】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップであって、商業からユーザへのメッセージは、ページスコープ識別子に宛てられている、ステップと、ページスコープ識別子に基づいて、ユーザアカウントを識別するステップと、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに商業からユーザへのメッセージを送信するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0020】

一実施形態では、例えば、上記装置のいずれもさらに、ユーザから商業へのメッセージを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、ユーザから商業へのメッセージは、商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられている、ステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を、ユーザの同意を示すように設定するステップとを行うように構成される商業仲介サーバを備え得る。

【0021】

一実施形態では、例えば、少なくとも1つのコンピュータ可読記憶媒体は、実行されたときに、システムに前述の方法のいずれかを行わせる命令を含み得る。

一実施形態では、例えば、装置は前述の方法のいずれかを行うための手段を備え得る。上記の、および関連する目的を達成するために、ある特定の例示的な態様が、以下の説明および添付の図面に関連して本明細書において記載される。これらの態様は、本明細書において開示される原理を実行することができる様々な方法を示し、全ての態様およびその均等物が、特許請求される主題の範囲内にあることが意図される。他の利点および新規の特徴は、以下の詳細な説明を図面と併せて検討することにより明らかとなるであろう。

【0022】

ユーザは、友達とのチャットに慣れているため、メッセージング通信を使用してソーシャルネットワーキングサービスのページを介して企業と関わり合うことがある。ユーザは、友達、同僚およびその他知り合いと通信を行うために使用するのと同じメッセージングアプリケーションで、これらの企業の製品およびサービスを見つけ、関わり合い、購入する。これらのメッセージの中には自動的に応答されるものもあるが、他のものは企業ページの管理者が完全にまたは一部手動で応答するものもある。

【0023】

ユーザはウェブページを介して企業と対話するのに慣れていることがある。このウェブページが対話的要素または動的要素を含む場合でも、対話はやはりウェブページの提示スタイルで受信される。ウェブページと同様な企業ページもメッセージングシステムを介してアクセス可能なこともある。しかし、ウェブページがポップアップダイアログボックスによりチャットを可能にする場合には、メッセージングシステムは企業との会話型の対話をメッセージング特有のインタフェースに対し表示してもよい。これは対話をメッセージングの提示スタイルに基づかせるのに役立ち、それによって体験に人間味を与え、パーソナライズすることができる。また、別の人とのメッセージングとちょうど同じように、メッセージングクライアントは会話の履歴を維持し、会話から離れたナビゲーションと復帰、複数のユーザデバイスにわたる会話のミラーリングを可能にすることができる。対して、ウェブページ上のポップアップメッセージングダイアログは一時的なものであり、会話が完了するまで閉じることのできないブラウザウィンドウから離れられず、1台のユーザデバイスから動けなくなる。企業ページとのこの会話はメッセージングボットによって表してもよく、メッセージングボットはメッセージング環境における企業ページの仮想表現である。メッセージングボットは企業のアバタとして機能し、1つのメッセージング表現内で企業とのメッセージングの体験を統合することができる。

【0024】

メッセージングクライアントは多様な環境で実行してもよい。第1実施態様はiOS（商標）プラットフォームで実行し、第2実施態様はANDROID（登録商標）プラットフォームで、第3はメッセージングサービスおよび／またはソーシャルネットワーキングサービスのウェブページ内に埋め込まれてもよいが、これだけに限らない。同じメッセージングボットは、これらのプラットフォームのいずれかのメッセージングクライアントを通じてアクセスすることができ、統合メッセージングシステムを通じてプラットフォームのそれぞれでメッセージングクライアントにつながれている。このように、メッセージングシステムが各プラットフォームにメッセージング体験を適応させるので、メッセージングボットの開発は簡素化することができる。また、ユーザの体験を統合することができるので、メッセージングシステムにアクセスするのにどのデバイスを使用しようとも、同じメッセージングボットを体験する。また、メッセージングシステムはデバイス間のメッセージング状態を複製することができるので、あるデバイスで会話を始め、それを別のデバイスで続けてもよい。例えば、ユーザが実店舗で製品を見ているときにスマートフォンデバイスから製品に関する会話を始め、その後自宅からパーソナルコンピュータまたはタブレットデバイスで会話をまた始めてもよい。

【0025】

そのプレゼンスを既存のメッセージングシステムおよびメッセージングクライアントに拡張することによって、企業はその顧客とつながるために、新規のリッチなチャネルを得ることができる。メッセージングは電話の会話の対話性を提供できるだけでなく、非同時性の関わり、それによってユーザの個人的なスケジュールの便宜も備える。メッセージングシステムは企業とユーザの双方にとって確実な配信、配信の受け取り、リッチなインタフェース、複雑なメディア通信、および複数のデバイスにわたる複製を提供することができる。そしてこの機能は、その企業用のカスタムアプリケーションをインストールする必要なく、メッセージングシステムのユーザが見つめることができる。例えば、航空会社は、カスタムアプリケーションを配備する必要なく、またはユーザにアプリケーションをイ

インストールしてもらう必要なく、既存のインフラストラクチャを通して、チェックイン、搭乗券の受け取り、航空便の遅延の通知を受けること、変更を行うことのすべてを可能にすることができる。

【0026】

特に、例えば、旅行中に緊急事態により飛行便の予定を変更する必要がある場合など、携帯電話を通してユーザが企業にアクセスを望ませるかもしれない状況の多くは、企業特有のアプリケーションを見つけ、それをダウンロードし、それを設定し、それをユーザのアカウントにつなげて、さらにユーザの所望の作業を実行するのがまさに不便な状況であろう。代わりに、ユーザはすでに自分のデバイス上にあるアプリケーションを通じて企業にアクセスし、個人的な通信や他の企業との通信のために使用することができる。さらに、メッセージングシステムは、ユーザの電話番号をすでに検証済みで、メッセージングクライアントを使用するユーザにその電話番号が関連付けられていることを証明できることによるなど、企業に対してユーザのアイデンティティを検証することができる。

10

【0027】

そのため、企業は、この追加チャネルを使用して、顧客に連絡することが可能になり得る。既存の顧客は、その氏名、住所または電話番号などの身元確認情報に基づいてマッチングを行ってもよい。企業は、身元確認された既存の顧客にあいさつメッセージを送って、企業との通信チャネルとしてメッセージングシステムを使うよう勧めることが可能になり得る。しかし、メッセージングシステムは、ユーザ自身が、例えば企業からのあいさつメッセージに回答して、企業との能動的なメッセージングを通じて企業と関わり合う場合、アカウント情報へのアクセスのみを提供することによって、顧客のプライバシーを保護することもできる。そのため、ユーザは、自分が使用するメッセージングシステム上の企業のプレゼンスが、ユーザがそれを望む場合にしか、この新規のチャネルでユーザに連絡が取れないという安心を感じることができる。新規顧客の獲得はメッセージングクライアント内で企業の発見を奨励することによって促してもよいが、新規顧客の実際のメッセージングはユーザ自身が企業に連絡するまで防止することができる。

20

【0028】

同様に、ユーザのプライバシーは、企業からユーザにスポンサー付きメッセージをどのように送るかの範囲を制限することによって保護することもできる。メッセージングチャネルを介した広告の広範囲のスパム行為を許すのではなく、企業には、メッセージングシステムを介してすでに企業との関わり合いに関心を表明したユーザに再び関わることを試みるために、スポンサー付きメッセージを使用することを可能にしてもよい。自社製品に関する詳細をユーザに広範囲にメッセージ送信することを試みるインターネット小売店は、ユーザをメッセージングシステムから連れ去ることがあり、したがって、メッセージングシステムは手当たり次第の販促または無差別の販促を回避して、代わりに高度に差別化し、個人を対象とした販促を使用するよう企業を誘導する手法を採用してもよい。メッセージングシステムは、手当たり次第の販促を減らそうとする中で、スポンサー付きメッセージのターゲットおよびスポンサー付きメッセージの内容の両方を分析してもよい。

30

【0029】

メッセージングシステムは、企業が以前にその企業とのメッセージングに関わったことのあるユーザまたはスレッド（例、ユーザ間のスレッド）にのみスポンサー付きメッセージを送信することに制限することもできる。このことは、企業が、ユーザに販促情報をプッシュする権限が与えられる前に、ユーザに自社と関わり合うよう奨励するタスクを引き受ける、つまり、そのメッセージングチャネルを対話の価値あるツールにするよう促進し得る。メッセージングシステムはスポンサー付きメッセージの内容を、企業とその顧客との間の特有の対話に応じたものに制限することもできる。ユーザがある製品について問い合わせたが、在庫がなかった場合、企業は、ユーザが通知を特に求めなかった場合でも、ユーザがまだそれに関心があるかどうかを尋ねるのは適切であろう。これは個人的なものであり、ユーザはそれでもなお、メッセージングクライアントでその企業をブロックすることによって防止することもできる。同様に、ユーザ間スレッドがレストランの空き状況

40

50

をレストラン予約メッセージングボットに問い合わせた場合、企業は、レストランがもうすぐ満席になるので、予約したければすぐに予約を入れる必要がある旨のスレッドを通知するのは適切であろう。しかし、ユーザがそうすることの権限の代償にメッセージングシステムを使用する場合でも、企業は、ユーザが予約をするのに関心があるかどうかに関し、毎晩ユーザに広範囲にスパム行為をするのを防止され得る。

【0030】

スパム保護は、個人レベルおよびコミュニティ全体のレベルの両方で提供することができる。企業は、企業とメッセージのやり取りをするユーザ、またはメッセージングシステムを通して企業から連絡してもらうことを特に要求するユーザが受け入れるような、少なくともそのユーザの黙示的な同意がなければ、個人ユーザに連絡するのを防止され得る。ユーザには、企業との各メッセージスレッドに、企業がユーザに再びメッセージ送信するのを完全に防止する目立つブロックボタンを表示するなどして、この同意を撤回することを可能にすることができる。このフィードバックはさらに、コミュニティ全体を保護するためにキャプチャすることができる。ブロックされることによるなど、否定的なユーザフィードバックが大量にある企業は、メッセージングシステムからレート制限され、または完全に排除されることがある。これは、様々な実施形態において手動または自動で適用されてもよい。

【0031】

いくつかの実施形態では、ユーザには複数のブロックボタンを提供してもよい。フルブロックボタンは企業からユーザへのすべてのメッセージを完全にブロックし、企業がユーザに連絡するのを完全に断絶する。スポンサー付きメッセージブロックボタンは、スポンサー付きメッセージ、すなわち、ユーザ要求に応答したユーザと企業との間の能動的な通信以外で、企業がメッセージングシステムに支払いを行って送信できるようにするメッセージの送信のみを防止することができる。そのため、企業は、ユーザ要求に応答して、一時的にユーザへのメッセージ送信が許可され得る。例えば、ユーザが企業にメッセージ送信するのに応答して、限定された期間中、無償でユーザにメッセージを送信することを許す期間限定アクセストークンが企業に提供されてもよい。しかし、企業は、限定された期間以外では、スポンサー付きメッセージを含め、メッセージ送信することを防止され得る。十分な数のユーザがフルブロックボタンを使用すると、全体として企業のユーザとの対話のレビューを誘発することがあるが、十分な数のユーザがスポンサー付きメッセージブロックボタンを使用すると、企業のスポンサー付きメッセージの使用のレビューを誘発することがある。

【0032】

さらに、企業には、メッセージングシステムの使用が許可される前に、企業の意図するメッセージングシステムとの統合を概説する申請書の提出を要求してもよい。再提出、再レビューおよび再承認なく合意された使用を違反する企業も、少なくとも新たな申請書が承認される時点まで、排除することができる。メッセージングボットによって送信されるメッセージは無作為に選択され、その承認された統合申請書と比較してオペレータに提示し、メッセージが承認を受けた概略に合致しない場合、罰せられることがある。特に、メッセージングシステムは広告用のメッセージングスレッドの使用の防止を強制してもよく、日常的または繰返し広告に関わるボットはシステムから排除される。挙動の是正を勧めるために、企業にはメッセージが広告に類似しすぎていることを最初に警告することがあるが、違反を繰り返せば排除されることになる。

【0033】

企業は、短期間の間に同一または非常に類似したメッセージを複数送信することについても監視され得る。企業によって送信されるメッセージ同士を比較して、企業は、メッセージングシステムの使用の提案の一部としてそうすることを承認される場合を除き、そうすることについてレート制限または排除され得る。例えば、場所特有の天気レポートの提供、または緊急天気警報もしくは他の緊急警報（例、行方不明の子供）の送信のためのメッセージングボットは、ユーザが広範囲に適用可能な情報の通知を受けることを明示的に

要求しているとき、このサービスを要求するユーザに非常に類似した大量メッセージを送信することが承認されることがある。しかし、企業はこのような送信パターンについて明示的な承認を受ける必要があり、この承認がなければ、企業が同一または非常に類似したメッセージの大量メッセージングに関わる場合、人間によるレビューが行われる時まで一時的に、自動的にレート制限され得る。明示的な承認のある企業は、メッセージングシステムにおいて、自動的または手動による制限を避けるために、承認があるとフラグが立てられてもよい。

【0034】

企業には、メッセージングスタイルセマンティクスを使用してメッセージングシステムへのアクセス権が提供されてもよく、メッセージングシステムによって適用される厳密な順番で情報のアトミック交換から対話が構成される。非メッセージングセマンティクスを使用して行われてもよいメッセージングボットの登録後、企業によるメッセージングボット自体の遂行は、メッセージング対話に基づいて構築されてもよい。どのタイプの企業も汎用アプリケーションプログラムインタフェース（API）へのアクセス権を受けることができ、汎用テンプレートが様々な種類のメッセージの送信を可能にする。これらの汎用メッセージテンプレートは、テキスト、画像、およびその特定の機能を提供する行動喚起（CTA）制御部を含み得る。CTAは、ボタンなどの視覚的制御部として表示されてもよく、ユニフォームリソースロケータ（URL）アドレスにアクセスすることによって、企業にメッセージを返すか、または他の自動応答をトリガしてもよい。このように、企業は、テキスト、リッチメディア、さらにユーザが反応できる制御部を含むメッセージを送信して、汎用ツールからその体験を構築することができる。CTAはメッセージを送り返す、またはURLにアクセスすることができるので、企業がURLのアクセスを通じてまたはメッセージからトリガすることのできるアクションは、購入、取り消し、ステータス更新要求、または他の何にしても、企業からのメッセージによってユーザに可能にすることができる。しかし、企業は、必要な場合にはカスタムテンプレートを構成することも可能で、メッセージングプラットフォームによる承認プロセスの一部として承認されてもよい。

【0035】

企業はメッセージングシステムを介してユーザの企業との体験をカスタマイズすることも可能にされてもよい。最初にメッセージングボットでメッセージスレッドにアクセスするとき、メッセージスレッドはそのヌルまたは空の状態では企業によってカスタマイズされてもよい。メッセージングクライアントの一番上に表示され得るコンテキストバナーは、企業のロゴなどで、カスタマイズされてもよい。スレッドのディスプレイの背景は、企業によってカスタマイズされたあいさつテキストを有することもできる。「開始」ボタンが表示され、例えば、新規ユーザが企業との会話を始めることを要求している旨を通知するメッセージを企業に送信してもよい。これはメッセージングシステムを有する企業にユーザとのメッセージングの開始を許可し、それを企業は追加の紹介情報を送信することによって利用してもよい。また、これは企業が、ユーザのプロフィールに登録された電話番号など、自社の顧客情報のレポジトリに対して照合するユーザの身元確認情報を検索することを可能にしてもよく、それによって企業は顧客がすでに企業と実現した状態を組み込んだユーザとの会話に関わることが可能になる。

【0036】

例えば、ユーザは企業とのメッセージスレッドを開き、「開始」ボタンを押すと、ユーザがメッセージングチャネルを介して企業と関わり合うことを望んでいる旨を企業に通知するメッセージを企業に送信する。企業にはユーザの識別子が提供されるとともに、企業はユーザのプロフィール情報の少なくとも一部を検索するために識別子を使用することが可能になる。企業はユーザの電話番号を検索して、この電話番号を自社のユーザ情報のデータベースに対して照合してもよい。ユーザが既存の顧客である場合、企業は「開始」ボタンにユーザに対してパーソナライズされたあいさつ文で応答することができるだろう。例えば、ホテルチェーンまたは航空会社にメッセージ送信するユーザには、ユーザが獲得

10

20

30

40

50

した報酬ポイントレベルを参照してあいさつしてもよく、通例電話でまたは店頭で受けられたのと同じカスタマイズサービスがメッセージングシステムを介して提供されることをユーザに知らせる。

【0037】

企業には、そのウェブページからメッセージングシステムを介してユーザを対話に誘導することを可能にしてもよい。メッセージングシステムによって企業が自社のウェブページ上に配置することのできるウェブプラグインを介して、メッセージング連絡ボタンが提供されてもよい。押されると、企業がメッセージングシステムを介してユーザにメッセージを送るために使用してもよいユーザの識別子が企業に送信され得る。メッセージング連絡ボタンは、企業がユーザとの企業初回メッセージング会話を開始することを可能にしてもよく、会話の最初のメッセージが企業によって送信される。このタイプのボタンの使用は、ユーザを企業のウェブページのインタフェース内にとどめるとともに、企業がユーザにメッセージ送信をすることを可能にすることを、ユーザの体験を中断せずに、裏で行う。

10

【0038】

企業のウェブページ上に配置することのできる代替または追加のウェブプラグインが、メッセージングシステムによって企業に提供されてもよい。このウェブプラグインは、押されたときに、起動したユーザをメッセージングクライアントに誘導し、企業とのメッセージスレッドに直接誘導するメッセージ開始ボタンを生成してもよく、これは既存のメッセージスレッドであっても、またはユーザがボタンを起動したことに応答して作成される新規のメッセージスレッドであってもよい。パーソナルコンピュータからアクセスされる場合、このメッセージングクライアントはウェブベースのメッセージングクライアントであってもよい。スマートフォンまたはタブレットデバイスからアクセスされる場合、メッセージングクライアントはメッセージングシステムに専用のメッセージング特有のクライアントであってもよい。このタイプのボタンの使用は、ユーザの体験を企業のウェブページからメッセージングインタフェースに切り替えることができる。

20

【0039】

いずれのタイプのボタンも、その年の最新のウェブ視聴体験に従ってカスタマイズすることができる。例えば、ウェブプラグインは、ボタンが押された特定のURLを指定するパラメータの受渡しを可能にしてもよい。これを使用して、ウェブページ上に表される特定の製品またはサービスに関する議論を開始することによるなど、メッセージスレッドの初回体験をカスタマイズしてもよい。ユーザは、リンクされることになるメッセージングシステムのユーザアカウントを確認し、リンクの承認または取り消しのいずれかを可能にする確認ダイアログボックスをウェブページ上に一時的に配置させることによって、これらのボタンのうちの1つを誤って使用することから保護することができる。間違ったアカウントが提示される場合、ユーザが既存のアカウントからログアウトして、本人としてログインできるように、本人ではないボタンを含めてもよい。メッセージングシステムについて現在ログインされているアカウントがない場合、ログインダイアログボックスが提示されてもよい。ウェブプラグインはJ A V A（登録商標）s c r i p t（登録商標）スクリプト言語を使用して実装されてもよい。

30

40

【0040】

このように、同意するユーザと個人的メッセージング体験に関わる企業には、その企業の範囲および望ましさをその顧客にまで拡大することを可能にしてもよい。メッセージングシステムはその使用範囲を増やししながら、そのユーザにとっての有用性を高め、そのためそのユーザとの関わり合いを増やすだろう。

【0041】

以下では図面を参照し、図面では、類似の要素には全体を通して同様の参照符号を用いる。以下の説明では、その完全な理解を与えるため、説明を目的として、様々な具体的な詳細について記載している。しかしながら、これら特定の詳細を省いても、新規な実施形態を実施できることは明らかであろう。一方で、周知の構造およびデバイスについては、そ

50

の説明を容易とするために、ブロック図の形式で示している。その意図は、特許請求される主題に矛盾しないあらゆる変更、均等物、および代替案を包括することである。

【0042】

本明細書で使用される「a」および「b」および「c」および同様の記号は、任意の正の整数を表す変数であることを意図していることに留意されたい。したがって、例えば、実施において $a = 5$ の値が設定される場合、コンポーネント $122-1 \sim 122-a$ として示される全一式のコンポーネント 122 は、コンポーネント $122-1$ 、 $122-2$ 、 $122-3$ 、 $122-4$ 、および $122-5$ を含む。実施形態は、これに限定されない。

【0043】

図1は、消費者・企業間のメッセージングシステム100のブロック図を示す。1つの実施形態では、消費者・企業間のメッセージングシステム100は、1つまたは複数のコンポーネントを含むソフトウェアアプリケーションを有するコンピュータ実装システムを含み得る。図1に示す消費者・企業間のメッセージングシステム100は、特定のトポロジにおいて限定された数の要素を有するが、消費者・企業間のメッセージングシステム100は、所与の実施に関して所望されるように、代替トポロジにおいてより多くの、またはより少ない要素を含むことができることが理解されるであろう。

【0044】

消費者・企業間サービス110は、消費者と企業との間の仲介者として機能し得る。消費者と企業はともに消費者・企業間サービス110のユーザであってもよく、消費者は個人ユーザアカウントにより表され、企業は商業アカウントによって、またおそらくは、企業の担当者および他の従業員と関連付けられている個人ユーザアカウントなど、企業に関連付けられている1つまたは複数の個人ユーザアカウントによって表される。消費者ユーザはソーシャルグラフにおいてユーザエンティティのエントリで表されてもよい。企業または他の商業ユーザはソーシャルグラフにおいて商業エンティティによって表されてもよい。消費者ユーザと商業ユーザとの関係は、ソーシャルグラフにおいて、ユーザエンティティと商業エンティティとの間の1つまたは複数のエッジによって表されてもよい。

【0045】

消費者・企業間サービス110は、メッセージングシステム140を備え得る。メッセージングシステム140は、一般に、個人ユーザなどの個人エンティティと企業や他の組織などの団体エンティティとの間で受信、記憶および配信するように構成されてもよい。メッセージングシステム140は、メッセージングエンドポイント125などのメッセージングエンドポイントがオフラインのときにメッセージを記憶し、メッセージングエンドポイントが利用できるようになったらメッセージを配信してもよい。メッセージングシステム140は、ユーザが同じユーザアカウントで複数のメッセージングエンドポイント（例、モバイルデバイスのメッセージングクライアント、パーソナルコンピュータのウェブブラウザ）を使用することを可能にしてもよく、メッセージングシステム140はユーザアカウントのメッセージング状態に関してメッセージングエンドポイントのすべてを最新の状態に保つ。

【0046】

消費者・企業間サービス110は、ソーシャルネットワーキングサービス170を備え得る。ソーシャルネットワーキングサービス170は、ソーシャルグラフを表すソーシャルグラフデータ構造を維持してもよい。ソーシャルグラフは、ユーザエンティティ、商業エンティティ、および他の種類のエンティティなどのエンティティ間の関係を表してもよい。ソーシャルグラフはグラフの関係として関係を表してもよく、すべての情報がグラフ内の特定のノードに属して、またはグラフ内の2つのノード間の特定のエッジに属して符号化される。ソーシャルネットワーキングサービス170はソーシャルネットワーキングサービスの一要素であってもよく、ソーシャルグラフは、少なくとも部分的に、ソーシャルネットワーキング情報を含む。消費者・企業間サービス110全体は、ソーシャルネットワーキングの一要素であっても、または複数の要素から構成されてもよい。

【0047】

消費者・企業間サービス１１０は消費者ポータル１５０を備え得る。消費者ポータル１５０は、消費者がクライアントアプリケーションを使用するための消費者・企業間サービス１１０への統一エントリポイントであってもよい。消費者ポータル１５０は、消費者・企業間サービス１１０を使用しないユーザ、または消費者・企業間サービス１１０を使用して商業に関わらないユーザを含む、非商業エンティティにとっての一般的なユーザポータルとして機能してもよい。消費者ポータル１５０はメッセージングシステム１４０およびソーシャルネットワーキングサービス１７０へのアクセスを提供してもよい。いくつかの実施形態では、ソーシャルネットワーキングサービス１７０へのすべてのアクセスは消費者ポータル１５０によって介在されてもよく、そこで、ユーザがソーシャルグラフ情報の一部または全部に直接アクセスしなくても、ユーザの代わりにソーシャルネットワーキングサービス１７０の情報が使用および管理される。いくつかの実施形態では、ユーザは自身のユーザアカウントを使用してメッセージングシステム１４０に直接アクセスしてもよく、消費者ポータル１５０は消費者・企業間サービス１１０の消費者機能に制限され、一般的なメッセージング機能（例、友達とのメッセージング）は、消費者ポータル１５０の介在なく、メッセージングエンドポイント１２５とメッセージングシステム１４０との間の直接的なネットワーク通信を介して提供される。

10

【００４８】

消費者・企業間サービス１１０は企業ポータル１６０を備え得る。企業ポータル１６０は、企業エンティティがクライアントアプリケーションを使用するための消費者・企業間サービス１１０への統一エントリポイントであってもよい。企業ポータル１６０は、メッセージングシステム１４０およびソーシャルネットワーキングサービス１７０へのアクセスを提供してもよい。いくつかの実施形態では、ソーシャルネットワーキングサービス１７０へのすべてのアクセスは企業ポータル１６０によって介在されてもよく、そこで、商業エンティティがソーシャルグラフ情報の一部または全部に直接アクセスしなくても、商業エンティティの代わりにソーシャルネットワーキングサービス１７０の情報が使用および管理される。いくつかの実施形態では、商業エンティティは自身の商業アカウントを使用してメッセージングシステム１４０に直接アクセスしてもよく、企業ポータル１６０は消費者・企業間サービス１１０のビジネス機能に制限され、一般的なメッセージング機能（例、顧客とのメッセージング）は、企業ポータル１６０の介在なく、１つまたは複数の商業アプリケーション１９０とメッセージングシステム１４０との間の直接的なネットワーク通信を介して提供される。

20

30

【００４９】

ユーザは、クライアントデバイス１２０上で実行するメッセージングエンドポイント１２５のソフトウェアアプリケーションを使用して、消費者・企業間のメッセージングシステム１００に参加し、消費者・企業間サービス１１０と対話してもよい。クライアントデバイス１２０は、通例、iPhone（登録商標）、ANDROID（登録商標）フォン、または他のスマートフォンなど、従来の電話機能以上の機能を提供するソフトウェアアプリケーションを実行することのできる携帯電話であるスマートフォンであってもよい。メッセージングエンドポイント１２５は、消費者・企業間サービス１１０の一部を形成する特定のメッセージングシステム１４０に特に関連付けられていてもよく、または複数のメッセージングサービスと対話するように作動する汎用メッセージングクライアントであってもよい。メッセージングエンドポイント１２５は、メッセージングタスクおよび商業タスクを実施するために、消費者ポータル１５０およびメッセージングシステム１４０の一方または両方と対話してもよい。

40

【００５０】

商業エンティティの担当者、従業員および／または代理人のアクションによるなど、商業エンティティは、商業アプリケーション１９０を使用して、消費者・企業間のメッセージングシステム１００に参加し、消費者・企業間サービス１１０と対話してもよい。商業アプリケーション１９０は、商業エンティティが消費者・企業間のメッセージングシステム１００に参加するために使用するソフトウェアクライアントを備え得る。商業アプリケ

50

ーション190は、メッセージングタスクおよび商業タスクの実施のために、企業ポータル160およびメッセージングシステム140の一方または両方と対話してもよい。商業アプリケーション190は、商業エンティティ内の個人が消費者・企業間のメッセージングシステム100内の企業のプレゼンスを管理するために使用するアプリケーション、購入されたサービスを行い、もしくは購入された製品を供給するために使用するアプリケーション、または消費者・企業間のメッセージングシステム100に関係する他のタスクを行うために使用するアプリケーションを備え得る。

【0051】

商業エンティティは、メッセージングシステム内において、ユーザに表示するための情報の集合体を含む商業表現物によって表されてもよい。商業表現物は企業ページを含んでもよく、企業ページは消費者・企業間のメッセージングシステム100内の企業のアイデンティティである。企業ページは商業エンティティに関する情報を表示してもよい。企業ページは、商業エンティティの実際の場所、実際の場所の営業時間、または商業エンティティ（例、商業エンティティの担当者）が消費者・企業間のメッセージングシステム100を通じたメッセージングに対応できる時間帯のうちの1つまたは複数など、商業エンティティに関する情報を含んでもよい。企業ページは、ソーシャルグラフで表されるように、ソーシャルネットワーク内でその商業エンティティに「いいね！」を表明した」またはその商業エンティティを「フォローしている」閲覧ユーザの友達のリストなど、その商業エンティティに関するソーシャルネットワーキング情報を含んでもよい。

【0052】

商業表現物は、一商業エンティティに正確に対応しなくてもよい。企業などの1つの商業エンティティが、複数の商業表現物を有し、そのため複数の企業ページを有してもよい。例えば、1つの企業がその同じ企業によって所有され、営業される異なるブランドに対して異なる表現物を有してもよい。一小売店または一再販業者が複数のブランドを販売することがあるが、これらが販売する異なるブランドに対して異なる表現物を有してもよい。米国向けにある企業ページ、ヨーロッパ向けに別のもの、ロシア向けに別のものなど、一企業が営業する異なる地理的地域に対して異なる表現物を有してもよい。

【0053】

商業表現物のエージェントを、メッセージングシステム140のメッセージング会話に提示してもよい。メッセージングシステム140のユーザはメッセージングを介してエージェントと対話してもよく、エージェントは企業の仮想表現を含み、エージェントは企業ページとして提示される商業表現物に対応する。そのため、エージェント付きのメッセージングは、主に企業からユーザへの情報提供に特化した企業ページとしての商業表現物のプレゼンスを、ユーザと企業が会話に関わることでできる対話型メッセージングに拡張することができる。

【0054】

消費者であるユーザはメッセージングシステム140のメッセージングクライアントを使用して、エージェントと対話してもよい。アプリケーションは、アプリケーションプログラミングインタフェース（API）を介してメッセージングシステム140および／またはソーシャルネットワーキングサービス170へのアクセスを可能にする特定の登録に対応してもよい。アプリケーションは、メッセージングシステム140によってどのようにアプリケーションに連絡できるかを指定するアプリケーション用の様々な登録フックを介して、メッセージングシステム140に登録してもよい。これらのフックは、メッセージングシステム140内のユーザのメッセージングなどのイベントに応答して、アプリケーションと連絡するために使用してもよい。アプリケーションには、認証ならびにメッセージングシステム140との情報の安全な送受信のために使用することのできる安全なトークンが割り当てられてもよい。アプリケーションはメッセージングシステム140および／またはソーシャルネットワーキングサービス170の固有アプリIDに対応してもよい。企業はエージェントを介して提供するサービスおよび製品の複数の態様を表示することがあるため、商業エンティティはメッセージングシステム140を介してユーザと対話

10

20

30

40

50

するために複数の異なるアプリケーションを使用してもよい。各アプリケーションは、メッセージングシステム140で、企業ページなど、それが提供する1つまたは複数の商業表現物にサブスクライブされてもよい。

【0055】

複数の商業アプリケーション190の異なる商業アプリケーションは、商業エンティティに関して異なる機能を実装する。例えば、第1商業アプリケーションは顧客サポート担当者が使用するかもしれないが、第2商業アプリケーションは注文履行担当者が使用する。前者は、問題や苦情など、履行した注文に関するユーザの問い合わせに応答し、その通知を受けてもよい。後者はユーザの製品またはサービス依頼に応答し、その通知を受けてもよい。別の例では、第1商業アプリケーションは顧客サポート担当者がライブで使用するかもしれないが、第2商業アプリケーションは自動応答顧客サポートシステムが使用する。他のタイプの商業アプリケーションも制限なく使用してもよい。このように、企業ページに対応する所定の商業表現物は、複数の商業アプリケーションによって提供されてもよい。

10

【0056】

同様に、所定の商業アプリケーションは複数の商業表現物を提供し、そのため複数の企業ページとの対話を提供してもよい。例えば、それぞれ異なる企業ページによって表される、そのため異なる商業表現物によって表される複数のブランドをもつ企業は、同じアプリケーションまたは複数のアプリケーションを用いて複数のブランドを提供してもよい。一企業が異なる地理的地域に対して異なる企業ページを有する場合も同様である。別の例では、配送会社の商業アプリケーションは、様々なクライアントの配送品に関連し、配送品に関する最新情報について、メッセージングシステム140を介してこれらクライアントの商業表現物を提供してもよい。実施形態はこれらの例に制限されない。

20

【0057】

ネットワーク180は、コンピュータデバイス間でコンピュータ伝送を搬送するように作動する任意の形態のコンピュータネットワークを備え得る。ネットワーク180は、イントラネットおよびインターネットの一方または両方を含んでもよい。ネットワーク180は、例えばモバイルクライアントデバイス120との接続を提供するために使用される、セルラーデータネットワークおよび／またはWi-Fiデータネットワークを含み得る。

30

【0058】

消費者・企業間のメッセージングシステム100は、ユーザ間の対話から生成される知識を使用してもよい。消費者・企業間のメッセージングシステム100はソーシャルネットワークワーキングサービスのコンポーネントを備えてもよく、ソーシャルネットワークワーキングサービスのより幅広い対話から生成される知識を使用してもよい。このように、消費者・企業間のメッセージングシステム100およびより大きなソーシャルネットワークワーキングサービスのユーザのプライバシーを保護するために、消費者・企業間のメッセージングシステム100は、ユーザがそのアクションを消費者・企業間のメッセージングシステム100によって記録させる、または、例えば、適切なプライバシー設定を設定することによって他のシステム（例、サードパーティシステム）と共有させることをオプトインまたはオプトアウトするのを可能にする認可サーバ（または他の適したコンポーネント）を含み得る。ユーザのプライバシー設定は、ユーザに関連付けられているどの情報を記録してもよいか、ユーザに関連付けられている情報をどのように記録してもよいか、ユーザに関連付けられている情報をいつ記録してもよいか、ユーザに関連付けられている情報を誰が記録してもよいか、ユーザに関連付けられている情報を誰と共有してもよいか、さらに、ユーザに関連付けられている情報をどのような目的で記録もしくは共有してもよいかを決定してもよい。認可サーバまたは他の認可コンポーネントは、ブロッキング、データのハッシュ化、匿名化、または適切な場合他の適切な技術により、消費者・企業間のメッセージングシステム100およびソーシャルネットワークワーキングサービスの他の要素のユーザの1つまたは複数のプライバシー設定を実施するために使用してもよい。例えば、ソーシャルネッ

40

50

トワーキングサービスのユーザとソーシャルネットワークサービスとの間対話を、メディアコンテンツのプリファレンスおよびメディアコンテンツの異なる部分のプリファレンス間の関係を学習するために使用してもよいが、これらの対話を学習プロセスの前に、またはその一部として匿名化してもよい。

【0059】

図2は、ソーシャルグラフ200の一実施例を示す。特定の実施形態において、ソーシャルネットワークシステムは、1つまたは複数のソーシャルグラフ200を、ソーシャルグラフデータ構造として1つまたは複数のデータストアに記憶してもよい。

【0060】

特定の実施形態において、ソーシャルグラフ200は、複数のユーザノード202および複数の概念ノード204を含み得る複数のノードを含み得る。ソーシャルグラフ200は、ノード同士を接続する複数のエッジ206を含み得る。特定の実施形態では、ソーシャルネットワークシステム、クライアントシステム、サードパーティシステム、または任意の他のシステムもしくはデバイスは、適切なアプリケーションのソーシャルグラフ200および関連ソーシャルグラフ情報にアクセスしてもよい。ソーシャルグラフ200のノードおよびエッジはデータオブジェクトとして、例えば、データストア（ソーシャルグラフのデータベースなど）に記憶してもよい。このようなデータストアはソーシャルグラフ200のノードまたはエッジの1つまたは複数の検索可能なまたはクエリ可能なインデックスを含み得る。

【0061】

特定の実施形態において、ユーザノード202はソーシャルネットワークシステムのユーザに対応してもよい。限定ではなく例として、ユーザは、ソーシャルネットワークシステムと対話もしくは通信する、またはソーシャルネットワークシステムを通じて対話もしくは通信する個人（人間のユーザ）、エンティティ（例、エンタープライズ、企業、もしくはサードパーティアプリケーション）、または（例、個人もしくはエンティティの）グループであってもよい。特定の実施形態では、ユーザがアカウントをソーシャルネットワークシステムに登録すると、ソーシャルネットワークシステムはユーザに対応するユーザノード202を作成し、ユーザノード202を1つまたは複数のデータストアに記憶してもよい。本明細書に記載するユーザおよびユーザノード202は、適切な場合、登録ユーザおよび登録ユーザに関連付けられているユーザノード202に及ぶ。追加的にまたは代替的に、本明細書に記載するユーザおよびユーザノード202は、適切な場合、ソーシャルネットワークシステムに登録していないユーザに及ぶ。特定の実施形態において、ユーザノード202は、ユーザが提供する情報、または、ソーシャルネットワークシステムを含む様々なシステムが収集する情報に関連付けてもよい。限定ではなく例として、ユーザは、その名前、プロフィール写真、連絡先情報、誕生日、性別、婚姻状態、家族の状態、職業、学歴、プリファレンス、興味、またはその他人口統計学的情報を提供してもよい。特定の実施形態では、ユーザノード202はユーザに関連付けられている情報に対応する1つまたは複数のデータオブジェクトに関連付けてもよい。特定の実施形態では、ユーザノード202は1つまたは複数のウェブページに対応してもよい。ユーザノード202はソーシャルネットワークシステムにおけるユーザ用の固有ユーザ識別子に関連付けてもよい。

【0062】

特定の実施形態において、概念ノード204は概念に対応してもよい。限定ではなく例として、概念は場所（例えば、映画館、レストラン、ランドマーク、もしくは都市など）、ウェブサイト（例えば、ソーシャルネットワークサービスに関連付けられているウェブサイトもしくはウェブアプリケーションサーバに関連付けられているサードパーティウェブサイトなど）、エンティティ（例えば、人、企業、グループ、スポーツチーム、もしくは有名人など）、ソーシャルネットワークシステム内もしくはウェブアプリケーションサーバなどの外部サーバ上に所在し得るリソース（例えば、オーディオファイル、ビデオファイル、デジタルフォト、テキストファイル、構造化文書、もしくはアプリケーション

10

20

30

40

50

ンなど)、不動産もしくは知的財産(例えば、彫刻、絵画、映画、ゲーム、楽曲、着想、写真もしくは著作物など)、ゲーム、活動、着想もしくは理論、別の適切な概念、または2つ以上のこのような概念に対応してもよい。概念ノード204は、ユーザが提供する概念の情報、またはソーシャルネットワーキングシステムを含む様々なシステムが収集する情報に関連付けてもよい。限定ではなく例として、概念の情報は、名称もしくはタイトル、1つまたは複数の画像(例、本の表紙の画像)、場所(例、住所もしくは地理的な場所)、ウェブサイト(URLに関連付けられていてもよい)、連絡先情報(例、電話番号もしくは電子メールアドレス)、その他適した概念情報、またはこのような情報の任意の適した組み合わせを含み得る。特定の実施形態において、概念ノード204は、概念ノード204に関連付けられている情報に対応する1つまたは複数のデータオブジェクトに関連付けてもよい。特定の実施形態では、概念ノード204は1つまたは複数のウェブページに対応してもよい。

10

【0063】

特定の実施形態では、ソーシャルグラフ200のノードはウェブページ(これは「プロフィールページ」と呼ばれることがある)を表し、またはウェブページによって表されてもよい。プロフィールページはソーシャルネットワーキングシステムによってホストされ、またはソーシャルネットワーキングシステムにアクセス可能であってもよい。プロフィールページはサードパーティサーバに関連付けられているサードパーティウェブサイト上でもホストされてもよい。限定ではなく例として、特定の外部ウェブページに対応するプロフィールページは特定の外部ウェブページであってもよく、プロフィールページは特定の概念ノード204に対応してもよい。プロフィールページは他のユーザ全員または選ばれた小集合によって閲覧可能であってもよい。限定ではなく例として、ユーザノード202は、対応するユーザがコンテンツを追加し、発表を行い、またはその他自己を表現することのできる対応するユーザプロフィールページを有してもよい。企業ページ205などの企業ページは商業エンティティ用のユーザプロフィールページを含み得る。限定ではなく例として、概念ノード204は、特に概念ノード204に対応する概念に関して、1名または複数名のユーザがコンテンツを追加し、発表を行い、または自己を表現することのできる対応する概念プロフィールページを有してもよい。

20

【0064】

特定の実施形態において、概念ノード204は、サードパーティシステムがホストするサードパーティウェブページまたはリソースを表してもよい。サードパーティウェブページまたはリソースは、他の要素の中でも特に、アクションもしくは活動を表すコンテンツ、選択可能なアイコンもしくは他のアイコン、または他の対話可能なオブジェクト(例えば、JAVA(登録商標)Script、AJAX、またはPHPコードで実装してもよい)を含み得る。限定ではなく例として、サードパーティウェブページは、「いいね!」、「チェックイン」、「食べる」、「お薦め」、または他の適したアクションもしくは活動などの選択可能なアイコンを含み得る。サードパーティウェブページを閲覧するユーザは、アイコンの1つ(例、「食べる」)を選択することによってアクションを行って、クライアントシステムにユーザのアクションを示すメッセージをソーシャルネットワーキングシステムに送信させてもよい。メッセージに応答して、ソーシャルネットワーキングシステムは、ユーザに対応するユーザノード202とサードパーティウェブページまたはリソースに対応する概念ノード204との間にエッジ(例、「食べる」エッジ)を作成し、エッジ206を1つまたは複数のデータストアに記憶してもよい。

30

40

【0065】

特定の実施形態において、ソーシャルグラフ200の1対のノードは1つまたは複数のエッジ206によって互いに接続してもよい。1対のノードを接続するエッジ206は、その1対のノード間の関係を表してもよい。特定の実施形態において、エッジ206は1対のノード間の関係に対応する1つまたは複数のデータオブジェクトまたは属性を含み、または表してもよい。限定ではなく例として、第1ユーザは、第2ユーザが第1ユーザの「友達」であることを示してもよい。この表示に応答して、ソーシャルネットワーキング

50

システムは第2ユーザに「友達申請」を送信してもよい。第2ユーザが「友達申請」を確認すると、ソーシャルネットワーキングシステムはソーシャルグラフ200で第1ユーザのユーザノード202を第2ユーザのユーザノード202に接続するエッジ206を作成し、エッジ206をソーシャルグラフ情報として1つまたは複数のデータストアに記憶してもよい。図2の実施例では、ソーシャルグラフ200は、ユーザ「アマンダ」とユーザ「ドロシー」のユーザノード202間の友達関係を示すエッジ206を含む。本開示は特定のユーザノード202を接続する特定の属性をもつ特定のエッジ206を記載または例示するが、本開示はユーザノード202を接続する任意の適した属性をもつ任意の適したエッジ206を企図する。限定ではなく例として、エッジ206は交友関係、家族関係、仕事関係もしくは雇用関係、ファン関係、フォロワー関係、ビジター関係、加入者関係、上下関係、互惠関係、非互惠関係、別の適した種類の関係、または2つ以上のこのような関係を表してもよい。また、本開示は、全体として、ノードを接続されているものとして記載しているが、本開示はユーザまたは概念もつなげられるものとして記載する。本明細書において、ユーザまたは概念がつけられるというとき、適切な場合、そのユーザまたは概念に対応するノードがソーシャルグラフ200において1つまたは複数のエッジ206によって接続されることに及ぶ。

【0066】

特定の実施形態において、ユーザノード202と概念ノード204との間のエッジ206は、ユーザノード202に関連付けられているユーザが概念ノード204に関連付けられている概念に対して行う特定のアクションもしくは活動を表してもよい。限定ではなく例として、図2に図示するように、ユーザはある概念について、「いいね！を表明する」、「出席した」、「再生した」、「聴いた」、「料理した」、「勤務した」、または「見た」のであってもよく、そのそれぞれが、あるエッジタイプまたはサブタイプに対応してもよい。概念ノード204に対応する概念プロフィールページは、例えば、選択可能な「チェックイン」アイコン（例えば、クリック可能な「チェックイン」アイコンなど）または選択可能な「お気に入りに追加」アイコンを含み得る。同様に、ユーザがこれらのアイコンをクリックした後、ソーシャルネットワーキングシステムは、それぞれのアクションに対応するユーザのアクションに応答して、「お気に入り」エッジまたは「チェックイン」エッジを作成してもよい。限定ではなく別の例として、ユーザ（ユーザ「カーラ」）は特定のアプリケーション（オンラインミュージックアプリケーションのSPOTIFY）を使用して特定の楽曲（「アクロス・ザ・シー」）を聴くかもしれない。この場合、ソーシャルネットワーキングシステムは、ユーザがその楽曲を聴いて、そのアプリケーションを使用したことを示すために、ユーザに対応するユーザノード202と楽曲およびアプリケーションに対応する概念ノード204との間に、「聴いた」エッジ206および「使用した」エッジ（図2に図示する）を作成してもよい。また、ソーシャルネットワーキングシステムは、その特定の楽曲がその特定のアプリケーションによって再生されたことを示すために、楽曲およびアプリケーションに対応する概念ノード204間に「再生した」エッジ206（図2に図示する）を作成してもよい。この場合、「再生した」エッジ206は外部アプリケーション（SPOTIFY）が外部オーディオファイル（楽曲「アクロス・ザ・シー」）に対して行ったアクションに対応する。本開示はユーザノード202と概念ノード204とを接続する特定の属性をもつ特定のエッジ206を記載するが、本開示はユーザノード202と概念ノード204を接続する任意の適した属性をもつ任意の適したエッジ206を企図する。また、本開示は、単一の関係を表すユーザノード202と概念ノード204との間のエッジを記載するが、本開示は1つまたは複数の関係を表すユーザノード202と概念ノード204との間のエッジを企図する。限定ではなく例として、エッジ206はユーザが特定の概念について「いいね！」を表明したことおよび使用したことの両方を表してもよい。代替的に、別のエッジ206がユーザノード202と概念ノード204との各タイプの関係（または複数の単一の関係）を表してもよい（図2に図示するように、ユーザ「エドウィン」のユーザノード202と「SPOTIFY」の概念ノード204との間）。

10

20

30

40

50

【0067】

特定の実施形態において、ソーシャルネットワークシステムは、ソーシャルグラフ200のユーザノード202と概念ノード204との間にエッジ206を作成してもよい。限定ではなく例として、概念プロフィールページを閲覧するユーザ（例えば、ウェブブラウザまたはユーザのクライアントシステムがホストする特定用途向けアプリケーションを使用することによってなど）は、「いいね！」アイコンをクリックまたは選択することによって、概念ノード204によって表される概念を好きであることを示してもよく、それによって、ユーザのクライアントシステムに、概念プロフィールページに関連付けられている概念をユーザが好きであることを示すメッセージをソーシャルネットワークシステムに送信させてもよい。メッセージに応答して、ソーシャルネットワークシステムは、ユーザと概念ノード204との間の「いいね！」エッジ206で図示されるように、ユーザに関連付けられているユーザノード202と概念ノード204との間にエッジ206を作成してもよい。特定の実施形態において、ソーシャルネットワークシステムはエッジ206を1つまたは複数のデータストアに記憶してもよい。特定の実施形態において、エッジ206は、特定のユーザのアクションに応答して、ソーシャルネットワークシステムによって自動的に形成されてもよい。限定ではなく例として、第1ユーザが写真をアップロードし、映画を鑑賞し、または楽曲を聴く場合、第1ユーザに対応するユーザノード202とこれらの概念に対応する概念ノード204との間にエッジ206が形成されてもよい。本開示は特定のエッジ206を特定の方法で形成することを記載するが、本開示は任意の適したエッジ206を任意の適した方法で形成することを企図する。

【0068】

ソーシャルグラフ200は複数の製品ノードをさらに含み得る。製品ノードは特定の企業に関連付けられていてもよい特定の製品を表してもよい。企業は消費者・企業間サービス110に製品カタログを提供してもよく、そのため消費者・企業間サービス110はソーシャルグラフ200の製品内の各製品を表してもよく、各製品は個別の製品ノードにある。製品ノードは、価格情報、説明情報、製造者情報、在庫情報、および他の関連情報など、製品に関わる情報を含み得る。例えば、あるレストランのメニューに掲載されるアイテムのそれぞれをソーシャルグラフ200内で、アイテムのそれぞれを記述する製品ノードを用いて表してもよい。製品ノードは、エッジによって、製品を提供する企業にリンク付けしてもよい。複数の企業が1つの製品を提供する場合、各企業は自らの製品提供に関連付けられている個別の製品ノードを有してもよく、またはそれぞれ同じ製品ノードにリンク付けしてもよい。製品ノードは、エッジによって、製品を購入した、評価した、所有している、推奨した、または閲覧した各ユーザに、関係の性質（例、購入した、評価した、所有している、推奨した、閲覧した、またはその他の関係）を記述するエッジを用いてリンク付けしてもよい。製品ノードのそれぞれは、リンク付けされた加盟店企業であることによって、グラフIDおよび関連加盟店IDに関連付けられてもよい。そのため、ある企業から入手可能な製品は、ソーシャルグラフ200内の企業のユーザノードにリンク付けされている入手可能な製品ノードを検索することによって、ユーザに通信されてもよい。製品ノードに関する情報は、参照製品に関する情報をカプセル化する製品オブジェクトとして、ソーシャルネットワークシステムによって操作されてもよい。

【0069】

図3Aは、企業ウェブページのユーザインタフェース300の一実施形態を示す。

クライアントデバイス301は、消費者・企業間のメッセージングシステム100にアクセスするために使用される任意のデバイスに対応してもよい。図3Aの図示される実施形態では、クライアントデバイス301はスマートフォンデバイスに似ているが、本明細書で説明する手法は任意のタイプのデバイスとともに使用できることは理解されよう。

【0070】

ユーザインタフェース300は、一般に、消費者・企業間のメッセージングシステム100のパートナーのウェブページディスプレイ303に対応してもよい。ウェブページディスプレイ303は、消費者・企業間のメッセージングシステム100のオペレータによ

って作成および運営されるのではなく、パートナーによって作成および運営されるウェブページのディスプレイであってもよい。例えば、企業ウェブページは消費者・企業間のメッセージングシステム100とは別の企業によってホストされてもよい。ウェブページはユニフォームリソースロケータ（URL）によって識別することができ、これはクライアントデバイス301上に表示されるURLバー302に見えるように表示または表されてもよい。

【0071】

ウェブページはメッセージング開始制御部305を備え得る。ユーザによるメッセージング開始制御部305の選択は、クライアントデバイスをメッセージングクライアントに、特にメッセージングクライアント内の企業のメッセージングボットを用いたメッセージスレッドにリダイレクトすることができる。メッセージング開始制御部305はウェブプラグインによって生成してもよい。ウェブプラグインは消費者・企業間のメッセージングシステム100によって提供され、企業によってウェブページにインストールされてもよい。あるいは、メッセージング開始制御部305はリンクであってもよく、そのリンクが統一資源識別子（URI）を含む。メッセージング開始制御部305はクライアントデバイス301上のアプリケーションにディープリンクしてもよい。このようなアプリケーションは、限定ではないが、メッセージングクライアントを備えるネイティブアプリケーションまたはウェブアプリケーションであってもよい。アプリケーションはディープリンクのための様々な手法によって識別することができる。メッセージングクライアントはURIを受信し、メッセージングクライアントがメッセージングクライアントのユーザをメッセージングボットを用いたメッセージスレッドに向けることを可能にするために、メッセージングシステムのメッセージングボットを識別する識別子を抽出してもよい。

【0072】

図3Bは、開始メッセージ1015を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース310の一実施形態を示す。

クライアントデバイス301は、ウェブページでのメッセージング開始制御部305の選択に応答して、メッセージングクライアントを表示してもよい。しかし、メッセージングクライアントの表示は、クライアントデバイス301のオペレーティングシステムのアプリケーション選択ユーザインタフェースでメッセージングクライアントを直接選択するなど、ユーザが他の手法を用いて開始できることも理解されよう。また、開始メッセージ1015を含むメッセージングボットを用いたメッセージスレッドの表示は、ウェブページに埋め込まれている制御部の選択に応答するのではなく、メッセージングボットの選択またはメッセージングボットを用いたメッセージスレッドの選択によるなどして、メッセージングクライアント内で開始してもよい。

【0073】

メッセージングクライアントはメッセージングクライアントヘッダ312を表示してもよい。メッセージングクライアントヘッダ312は、ユーザがメッセージスレッドを介して関わるメッセージングボットの名称など、メッセージスレッドのタイトルを含んでもよく、これはメッセージングボットが表す企業の名称に対応してもよい。メッセージングクライアントヘッダ312はユーザをメッセージングクライアントの受信箱ビューに戻すための制御部を含み得る。受信箱ビュー制御部は、未読メッセージを含む複数の最近のメッセージスレッドにより増強されてもよい。

【0074】

メッセージスレッドのユーザインタフェース310はメッセージングボット情報ディスプレイ314を含み得る。メッセージングボット情報ディスプレイ314は、メッセージスレッドが関連付けられているメッセージングボットの名称およびアバタを含み得る。メッセージングボットのアバタは、メッセージングボットが関連付けられている企業のロゴであってもよい。メッセージングボット情報ディスプレイ314は、メッセージングボットに関連する商業のタイプなど、メッセージングボットのカテゴリを含み得る。例えば、メッセージングボット情報ディスプレイ314は「ショッピング&小売」カテゴリを含む

。これらのカテゴリはメッセージングボットの企業に関連付けられているメッセージングボットのオペレータによって選択されても、または消費者・企業間のメッセージングシステム100によって割り当てられてもよい。メッセージングボット情報ディスプレイ314は、メッセージングボットおよび／または企業もしくは企業のページにいいね！を表明した、お気に入り、またはその他自分を関連付けた人の数の一覧を含んでもよい。いくつかの実施形態において、メッセージングボット情報ディスプレイ314は、そのスクリーン空間を占めるほど十分なメッセージが受信されると、起動したときにメッセージスレッドの初期ディスプレイから最終的に除去されてもよい。

【0075】

メッセージスレッドのユーザインタフェース310は、メッセージスレッドの表示中に持続的に目に見える組み立て制御部319を含み得る。組み立て制御部319の多く、ほとんど、またはほぼすべてが、テキスト入力、メディア選択、絵文字選択、カメラの使用、ソーシャル承認アイコン等、様々なタスクを行うための別のユーザインタフェース制御部にアクセスすることを可能にすることができる。

【0076】

メッセージスレッドのユーザインタフェース310はメッセージ対話ディスプレイ313を備え得る。メッセージ対話ディスプレイ313はメッセージスレッド内でやり取りされたメッセージを含んでもよい。メッセージ対話ディスプレイ313は、メッセージスレッドの作成時にはやり取りされたメッセージがないため、最初は空かもしれない。

【0077】

しかし、いくつかの実施形態において、ユーザがメッセージングボットを用いたメッセージスレッドに最初にアクセスしたときに、開始メッセージ315が自動的に表示されてもよい。開始メッセージ315は、企業が提供する多様な製品分野など、メッセージングボットを用いたサービスを開始するための1つまたは複数のCTA制御部を含み得る。メッセージスレッドは、製品またはサービスのカテゴリ（例、「ショッピング&小売」）および企業の企業ページにいいね！を表明した人の数など、メッセージングボット情報および／または企業情報の表示を含んでもよい。

【0078】

開始メッセージ315は1つまたは複数のCTA制御部を含み得る。開始メッセージ315の一部として表示されるCTA制御部316は、メッセージングボットとのユーザの最初の対話を誘導することに向けられてもよく、したがってメッセージングボットとの対話に対するユーザの関心に関し、大まかなまたは一般的な質問をしてもよい。しかし、任意のタイプのCTA制御部を表示してもよい。

【0079】

図3Cは、ユーザメッセージ323および応答ボットメッセージ326を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース320の一実施形態を示す。

ユーザメッセージ323は、メッセージスレッドに提示されるメッセージングボットの選択肢に対するユーザ応答を含んでもよい。ある場合には、ユーザメッセージ323はユーザがCTA制御部を選択したことに基づき自動的に生成されてもよい。ユーザがCTA制御部を選択すると、メッセージングボット宛てにされる企業へのメッセージの送信を開始してもよい。このメッセージの少なくとも一部がメッセージスレッドに表示されて、ユーザにメッセージング会話の流れを表示してもよく、この場合、ユーザは開始メッセージ315の複数のCTA制御部から「靴」の選択肢を選択した。この同じテキストがメッセージングボットに送信されて、選択された制御部を示してもよい。いくつかの実施態様において、特定の制御部が選択されたことを示すメタデータなど、追加情報がメッセージングボットに送信され、ユーザに表示されなくてもよい。ある場合には、ユーザは、例えばメッセージングインタフェースを介して「靴」をタイプ入力して送信することによって、テキスト制御部を介してテキスト選択肢を入力することによって一連の選択肢に応答してもよい。

【0080】

応答ボットメッセージ 326 は、メッセージングボットによるユーザメッセージ 323 への応答を含んでもよい。応答メッセージ 326 は、依頼された製品またはサービスのユーザの構成の詳細化を可能にする C T A 制御部をさらに含み得る。複数の C T A 制御部がテンプレートの一部として受信されてもよく、このテンプレートはユーザへのメッセージとしてテキストセグメントを含み、1 つまたは複数の C T A 制御部の指定を可能にする。

【0081】

図 3 D は、ユーザメッセージ 333 および応答ボットメッセージ 336 を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース 330 の一実施形態を示す。ユーザメッセージ 333 および応答ボットメッセージ 336 は、依頼された製品またはサービスのユーザの構成をさらに詳細化してもよい。

【0082】

図 3 E は、カルーセル 345 を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース 340 の一実施形態を示す。ある場合には、メッセージングボットは、例えばユーザメッセージ 343 に応答して、カルーセル 345 を含むボットメッセージを送信してもよい。

【0083】

カルーセル 345 は表示するための複数のアイテムの送信を可能にするテンプレートを含んでもよく、それぞれ 1 つまたは複数の関連 C T A 制御部を含む。カルーセル 1045 はタイトルを含んでもよく、このタイトルは、ユーザに多様な選択肢を検討することを勧めるなど、カルーセル 345 を考慮したユーザへのメッセージとして使用される。カルーセル 1045 は複数のアイテムを含んでもよく、各アイテムはアイテム画像 347 (例、製品の画像)、テキスト (例、製品の説明文としてのアイテム説明 348)、および複数の制御部 (例、C T A 購入制御部 349 としての購入制御部、もっと見る制御部、および問い合わせ制御部) を備える。カルーセル 345 は追加アイテムを見るために水平にスクロールできるが、垂直カルーセルも消費者・企業間のメッセージングシステム 100 によってサポートされてもよい。いくつかの実施形態において、カルーセルのタイトルはカルーセルを含むアイテムの水平スクロール可能な集合から個別のメッセージとして送信されてもよい。

【0084】

図 3 F は、スクロールされたカルーセル 355 を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース 350 の一実施形態を示す。

スクロールされたカルーセル 355 は、追加アイテムを表示するために、ユーザによって水平にスクロールされたカルーセル 345 を含んでもよく、それぞれ画像、テキストセグメントおよび複数の C A T 制御部を含む。カルーセルのタイトルは複数のアイテムを考慮し続けるために適切な位置に留まってもよい。メッセージングクライアントは、2 つのアイテム間の移行点でスクロールを停止するのではなく、見るために特定のアイテムの表示全体が自動的に位置付けられるように、カルーセルのインテリジェントなスクロールを行うように作動することができる。

【0085】

図 3 G は、注文テンプレート 365 を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース 360 の一実施形態を示す。

注文テンプレート 365 は特定の製品の購入を構成するために使用されるフォームを含み得る。注文テンプレート 365 は、製品の名称、製品の説明、製品の価格、および製品の選択肢を構成するための 1 つまたは複数の制御部の間でスクロールすることのできる製品画像など、1 つまたは複数の画像を含んでもよい (例、1 足の靴のサイズの構成を可能にする構成制御部 366)。

【0086】

注文テンプレート 365 は製品の購入を可能にする購入制御部 367 を備え得る。いくつかの実施形態において、購入制御部 367 は、購入の金融取引を消費者・企業間のメッセージングシステム 100 によって処理する事前構築済みの C T A であってもよく、金融取引の確認がメッセージングボットの企業に送信されると、支払を確認するとともに、製

10

20

30

40

50

品の配送を開始する。

【0087】

図3Hは、注文受付メッセージ375を表示するメッセージスレッドのユーザインタフェース370の一実施形態を示す。

注文受付メッセージ375は、購入された製品またはサービスの受け付けを提供するメッセージテンプレートを含み得る。注文受付メッセージ375は、購入についてユーザに感謝の意を示し、または祝福を述べるなど、メッセージングボットの企業によってカスタマイズされたユーザへの個人的なメッセージを含んでもよい。注文受付メッセージ375はタイトル（例、注文確認であること）、製品の画像、製品のテキスト説明、任意の構成済みオプションのテキスト説明、支払明細、配送の概要および価格を含んでもよい。受け付けの一部としてユーザに提供すべき情報に関して企業に指示するために、受付メッセージのテンプレートが提供されてもよい。いくつかの実施形態において、注文受付メッセージ375の一部は、金融取引がユーザおよび企業の代わりに消費者・企業間のメッセージングシステム100によって行われる支払明細セクションなど、消費者・企業間のメッセージングシステム100によって規定されてもよい。

10

【0088】

図4Aは、検索のためのユーザインタフェース400の一実施形態を示す。

検索インタフェースは検索フィールド410を含んでもよく、前記検索フィールド410はユーザが検索で使用するテキストを入力することを可能にする。検索インタフェースは組み立て制御部440を含み得る。組み立て制御部440は、図3Bを参照して説明した組み立て制御部319と実質的に同様であってもよく、同様に、テキスト入力、メディア選択、絵文字選択、カメラの使用、ソーシャル承認アイコン等、様々なタスクを行うための別のユーザインタフェース制御部へのアクセスを可能にしてもよい。

20

【0089】

検索インタフェースは1つまたは複数の提案される連絡先も含んでもよく、これら提案される連絡先はユーザが検索情報を入力し、入力された検索情報に応答して検索結果の表示を促す前に検索インタフェースの初期ディスプレイに表示される。そのため、提案される連絡先は検索インタフェースを発見インタフェースに拡張することができ、前記発見インタフェースは、最初にユーザ指定の検索情報を使用せずに、ユーザへの提案を表示し、次いでユーザ指定の検索情報に基づく提案に移行する。

30

【0090】

提案される連絡先はユーザ情報およびコンテキスト情報に基づいて決定されてもよく、そのためユーザが連絡することを望むかもしれない人、グループおよび／またはメッセージングボットに関する予測を含み得る。連絡先の提案は、ユーザの関心に関する予測と同様に、ユーザの連絡先とのメッセージングにおいて、消費者・企業間のメッセージングシステム100にとって価値ある会社を組み入れてもよい。提案される連絡先は、提案される人およびグループ420など、人を含んでもよい。提案される連絡先は提案されるメッセージングボット430を含んでもよい。

【0091】

図4Bは、検索結果470のユーザインタフェース450の一実施形態を示す。

40

検索インタフェースは検索フィールド460を含んでもよく、これはテキストの完全または部分的な入力を含んでもよい。検索結果470は、検索フィールド1160に追加テキストが入力されると、更新され得る。例えば、テキスト入力制御部480を使用して、検索460にテキストを入力してもよい。テキスト入力制御部480は、図4Aを参照して説明したように、組み立て制御部440の一部としてテキスト入力選択制御部を選択することによって表示することができる。

【0092】

検索結果470は検索フィールド460のテキストに一致するものを含み得る。検索結果470は検索フィールド460のテキストに基づいて提案される結果を含んでもよく、これは予測されるユーザの関心および消費者・企業間のメッセージングシステム100に

50

としての販促価値のうちの1つまたは複数に基づいて、ランク付けされ、順番に表示されてもよい。図示されるように、検索結果470は複数の異なるタイプの連絡先を含んでもよい。検索結果470は、個人的な連絡先（例、友達もしくは過去の個人のメッセージングパートナー）、グループ（例、過去のまたはその他利用できるグループ会話）、および／またはメッセージングボットによって表される企業を含んでもよい。あるいは、いくつかの実施形態において、すべての検索結果470がメッセージングボットになるメッセージングボット専用の検索インターフェースが提供されてもよい。

【0093】

検索結果470は、結果のうちの1つまたは複数に関する情報を含む。含まれる情報は、連絡先の複数の共通の友達、メッセージングボットの製品もしくはサービスエリア、および個人的な検索結果またはメッセージングボットの検索結果が現在メッセージングに利用可能かどうかの表示のうちの1つまたは複数を含んでもよい。例えば、利用可能性インジケータ475は現在メッセージングに利用可能なすべての連絡先のみに関連して表示されてもよい。消費者・企業間のメッセージングシステム100は、消費者・企業間のメッセージングシステム100が連絡先に関連付けられているクライアントデバイスへのネットワーク接続を現在有しているかどうかなど、多様な手法に従って利用可能性を決定してもよい。

【0094】

図5は、メッセージング動作に関わる消費者・企業間のメッセージングシステム100の一実施形態を示す。

企業などの商業エンティティは、消費者・企業間のメッセージングシステム100との対話において、1つまたは複数の商業アプリケーション190を介して表されてもよい。これらの商業アプリケーション190。商業アプリケーション190は、商業エンティティの代わりに人間によるアクションを行う人間のエージェント、担当者または他のオペレータによって使用されてもよい。商業アプリケーションは商業フロントエンドアプリケーション590、商業メッセージングアプリケーション593、および／または商業連絡アプリケーション596を備え得る。他の商業アプリケーションも使用してもよく、異なる実施形態では異なる商業アプリケーションによって様々な機能が実装される。例えば、商業フロントエンドアプリケーション590、商業メッセージングアプリケーション593および商業連絡アプリケーション566は個別のアプリケーションを備えてもよい。代替的に、商業フロントエンドアプリケーション590、商業メッセージングアプリケーション593および商業連絡アプリケーション596のうちのいずれかまたは全部が、フロントエンド、メッセージング、および連絡の特徴のうちの1つまたは複数を実装する共通のアプリケーションであってもよい。様々な実施形態において、アプリケーションの異なる組み合わせによって様々な機能を実装することができる。

【0095】

消費者・企業間サービス110は、企業の消費者・企業間のメッセージングシステム100でのプレゼンスの展開を支援してもよい。この支援は、少なくとも部分的に、企業が営業する商業分野の特定に基づいてもよい。例えば、航空会社は、企業として、航空会社商業に関連付けられていて、そのため航空業界に関係する業務の遂行を支援するための情報および機能性が提供され得る。このように、消費者・企業間のメッセージングシステム100を用いたその運用において、企業などの商業エンティティは商業タイプに対応してもよく、例えば、衣料品店は衣料品の種類、小売業種、衣料小売業種等に関連付けられる。商業仲介サーバは、複数の商業タイプをサポートする消費者・企業間サービス110へのアクセスを提供してもよく、特定の商業エンティティの商業タイプは複数の商業タイプのうちの1つを含む。

【0096】

商業タイプは、国内旅行商業タイプ、ライドシェアリング商業例えば、航空会社商業タイプ、ホテル商業タイプ、小売商業タイプ、または任意の他の商業タイプを含み得る。各商業タイプは、商業タイプ特有のメッセージテンプレート、商業タイプ特有の添付ファイ

ルのタイプ、商業タイプ特有のフォーム、または他の商業タイプ特有のテンプレートを使用して、消費者・企業間サービス110によってサポートされてもよい。例えば、航空会社商業タイプは、航空会社情報を伝えるための航空会社特有のメッセージテンプレート（例、到着時刻、出発時刻、出発ゲートの説明、手荷物引渡し所の説明、接続便の説明、飛行便遅延最新情報）、航空輸送情報を提供するための航空会社特有の添付ファイルのタイプ（例、チケット領収証、搭乗券、手荷物預かり証）、航空輸送サービスを構成するための航空会社特有のフォーム（例、チケット予約、チケット変更、航空便へのチェックイン、受託手荷物の手配）、および他の航空会社特有のテンプレートによってサポートされてもよい。これらのテンプレートは、消費者・企業間のメッセージングシステム100をサポートする際の航空会社または他の企業の作業の負担を軽減し、テンプレートを作成する際の企業間の作業の重複を削減することができ、企業によって使用されるテンプレートの品質を標準化するとともに改善することができる。

10

【0097】

例えば、事前構築済みのテンプレートは、テキスト、画像、タイトル、サブタイトルおよびCTAボタンの異なる組み合わせを含んでもよい。テンプレートはまとめて組み合わせられてもよく、例えば、複数のメッセージを1回のメッセージングシステムへの呼び出しにより送信し、それらのレンダリングを1つのスタックとして呼び出す。メッセージのスタックはアイテムのリストのスクロール可能な水平または垂直構成として提示されてもよく、例えば、多様な提案製品をユーザに送信するときに使用してもよい。同様に、制御部はユニットとして提示されてもよい。フォームテンプレートは複数の制御部を指定するために使用されてもよく、テキストまたは画像も含むことができる。ユーザには選択肢の選択を勧めるタイトルテキスト付きのフォームが提示されてもよく、選択肢の各々は垂直または水平スタックとして提示され、例えば選択肢のそれぞれをCTA制御部にすることによって、選択肢のそれぞれがユーザによって選択可能で、企業によるアクションを呼び出す。例えば、コーヒーショップに行く途中でコーヒーを注文するユーザには、選択肢として利用できるコーヒーのサイズを一覧表示する、フォームから構築されたダイアログが提示されてもよい。選択肢のそれぞれは選択されたときに企業に送信される特定のメッセージ付きで構成できるので、選択されたサイズはメッセージとして企業に返される。

20

【0098】

企業とユーザとのメッセージング関係のインスタンス化は、いずれの当事者が呼び出ししてもよい。このような呼び出しはユーザ・商業間の呼び出しとも呼ばれる。消費者・企業間サービス110は、ユーザアカウントに関連して商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信してもよい。ユーザ・商業間の呼び出しは、特定のユーザと特定の商業エンティティとの間のメッセージング関係の呼び出しを含んでもよい。ユーザ・商業間の呼び出しは、商業エンティティの担当者が使用する商業フロントエンドアプリケーション590によって送信される商業メッセージング呼び出し515を含んでもよい。代替的に、ユーザ・商業間の呼び出しはユーザクライアントデバイス120によって送信されるユーザメッセージング呼び出し514を含んでもよい。消費者・企業間サービス110はユーザ・商業間の呼び出しに応答してスコープ識別子510を生成することができる。

30

40

【0099】

スコープ識別子510は、数字による識別子など、消費者・企業間のメッセージングシステム100の範囲全体よりも狭い特定の範囲内のユーザを識別する識別子を含み得る。このことは、消費者・企業間のメッセージングシステム100が商業エンティティに利用できる権限および情報の範囲を制御することを可能にし、例えば、消費者・企業間のメッセージングシステム100のユーザに対するプライバシー保護の実施に役立つ。例えば、スコープ識別子510はページスコープ識別子であってもよく、スコープ識別子510は企業ページの範囲にわたって企業エンティティに対するユーザを識別し、スコープ識別子510は特定の企業ページ内のユーザアカウントの固有識別子であるが、他の企業ページに関してユーザアカウントに使用され得る識別子とは独立している。ページスコープ識別

50

子は企業ページを提供する1つまたは複数の商業アプリケーションのうちのいずれによっても使用可能であり、それによってページスコープ識別子は複数の商業アプリケーションにわたってユーザの識別を統合するとともに、商業エンティティによる調和したユーザのサポートを可能にする。ページスコープ識別子は、企業ページのページ識別子に関連して商業アプリケーションによって消費者・企業間サービス110に提出されてもよく、そのページ識別子とページスコープ識別子の組み合わせが1つのユーザアカウントを識別する。

【0100】

ページスコープ識別子などのスコープ識別子510の使用は、多様な手法によりユーザのプライバシーを保護する機能をし得る。これらのプライバシー保護は消費者・企業間サービス110によってアプリケーションプログラミングインタフェース（API）レベルで実施されてもよい。範囲を特定の企業ページに制限することにより、企業ページ間でのユーザの追跡は部分的または全体的に消費者・企業間サービス110に制限することができ、そのため消費者・企業間サービス110のプライバシー保護の対象になる。さらに、消費者・企業間サービス110は、ユーザが情報の共有に同意するまで、商業エンティティが利用できる情報を制限することができる。例えば、消費者・企業間サービス110は、ユーザが当該情報の共有への同意を提出するまで、氏名情報（例、フルネーム、名、姓）、連絡先情報（例、電子メールアドレス、郵便住所、電話番号）、および／または人口統計学的情報（例、年齢、誕生日、ジェンダー、性別、人種、民族）の提供を制限することができる。いくつかの実施形態では、消費者・企業間サービス110は、ユーザが、企業ページのページスコープ識別子に関して情報を共有することについて、商業表現物（つまり、企業ページ）または商業エンティティとメッセージのやり取りをする（メッセージングに関わる）場合、ユーザの同意を推定し、ユーザが商業表現物とメッセージをやり取りしなかった場合、ユーザの同意がないと推定してもよい。

【0101】

消費者・企業間サービス110は、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、商業フロントエンドアプリケーション590にスコープ識別子510を送信してもよい。商業フロントエンドアプリケーション590に送信されるスコープ識別子510は、ページスコープ識別子を含んでもよく、前記ページスコープ識別子は、企業ページなど、ユーザ・商業間の呼び出しに関連付けられていることに基づいて識別される商業表現物に特有のものである。消費者・企業間サービス110は商業仲介サーバから商業フロントエンドアプリケーション590にスコープ識別子510を送信してもよく、前記商業フロントエンドアプリケーション590は商業エンティティに関連付けられており、前記スコープ識別子510は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関して、メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する。その結果、これは、商業フロントエンドアプリケーション590のオペレータに、消費者・企業間のメッセージングシステム100を介してユーザとのメッセージングに関わることを許可することができる。

【0102】

ユーザによる商業エンティティとのメッセージスレッドの呼び出しは、ユーザと商業エンティティとの間のメッセージング関係の開始を示し得る。メッセージスレッドは、メッセージングクライアントのインタフェースで商業エンティティを選択することによって呼び出すことができる。メッセージングクライアントで商業エンティティを見つけるために、多様な手法を使用してもよい。メッセージングクライアントは、消費者・企業間のメッセージングシステム100を介して利用できる様々な商業エンティティの調査および発見のために発見インタフェースを提示してもよい。代替的に、ユーザは商業エンティティを発見インタフェース外で販促されてもよい。当該販促はメッセージング受信箱内、メッセージスレッド内、またはメッセージングクライアントの任意の他の部分で行ってもよい。例えば、ユーザはメッセージスレッドの内容に応答して商業エンティティを販促されてもよい。

【0103】

ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイス120から受信されることもあり、この場合のユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、クライアントデバイスの商業エンティティ発見インタフェースに関連する。商業エンティティ発見インタフェースは商業エンティティの複数の商業表現物を表示し、特定の商業エンティティの特定の商業表現物の選択を可能にしてもよい。消費者・企業間サービス110は、クライアントデバイス120からのユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しの受信にตอบสนองしてスコープ識別子510を商業フロントエンドアプリケーション590に送信してもよい。商業フロントエンドアプリケーション590は、例えば、発見インタフェースを介して商業表現物を選択するユーザのスコープ識別子を受信するために、登録されてもよい。

10

【0104】

ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイス120から受信されることもあり、この場合のユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、クライアントデバイス120での商業エンティティトリガ提案に関連する。商業エンティティトリガ提案は、ユーザ間メッセージスレッドなど、メッセージング会話のコンテキストにตอบสนองしてクライアントデバイス120に表示される提案を含んでもよい。クライアントデバイス120は、消費者・企業間サービス110と協働して、ユーザ間メッセージスレッドのコンテキストを検出し、そのコンテキストにตอบสนองして商業選択肢を提案し、これが商業エンティティトリガ提案を含んでもよい。消費者・企業間サービス110は、クライアントデバイス120からのユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しの受信にตอบสนองして、商業フロントエンドアプリケーション590にスコープ識別子510を送信してもよい。

20

【0105】

ユーザ・商業間の呼び出しは、商業エンティティに関連付けられているウェブページ上のウェブプラグインに関連して受信されることもある。消費者・企業間のメッセージングシステム100は、商業エンティティがその企業のウェブページにウェブプラグインを追加することを可能にし、ウェブプラグインはユーザが商業エンティティの特定の商業表現物に関連して消費者・企業間サービス110にアクセスするために、ウェブプラグインによって呼び出される制御部を選択することを可能にしてもよい。消費者・企業間サービス110は、ウェブプラグインに関連してユーザ・商業間の呼び出しの受信にตอบสนองして、商業フロントエンドアプリケーション590にスコープ識別子510を送信してもよい。このように、企業は自社のウェブページで消費者・企業間のメッセージングシステム100における自社のプレゼンスを促進することができ、そのため自社の顧客との対話を消費者・企業間のメッセージングシステム100のメッセージングプラットフォームにまで拡張することを促す。

30

【0106】

企業はウェブ表示と同様に、物理的な表示でも、消費者・企業間のメッセージングシステム100での自社のプレゼンスを促進することができる。消費者・企業間サービス110はユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイス120からユーザ・商業間の呼び出しを受信することがあるが、このユーザ・商業間の呼び出しはクライアントデバイス120による視覚コードのキャプチャに関連し、前記視覚コードのキャプチャは商業エンティティを識別する。視覚コードは、例えば、バーコード、マトリックスバーコード、一次元バーコード、二次元バーコード、消費者・企業間のメッセージングシステムに特有のバーコード、または任意の他の形態の視覚コードを含んでもよい。消費者・企業間サービス110は、クライアントデバイスからのユーザ・商業間の呼び出しの受信にตอบสนองして、商業フロントエンドアプリケーションにスコープ識別子510を送信してもよい。視覚コードはクライアントデバイス120のカメラで読み取って、その後消費者・企業間サービス110に提出されてもよい。

40

【0107】

消費者・企業間サービス110は、ある企業について、その企業の顧客の電話番号の電

50

話番号マッチングを行うように作動してもよい。商業メッセージング呼び出し 515 は、企業からの 1 つまたは複数の顧客の電話番号の提出を含むことがある。消費者・企業間サービス 110 は商業フロントエンドアプリケーション 590 から電話番号記録を受信し、電話番号記録とユーザアカウントとのマッチングを行い、商業フロントエンドアプリケーション 590 から受信した電話番号記録とユーザアカウントとが一致したことに応答して、ユーザアカウントのスコープ識別子 510 を商業フロントエンドアプリケーション 590 に送信してもよい。このように、企業は自社の顧客との通信のために、電話番号もしくはショートメッセージサービス (SMS) 連絡の使用から、消費者・企業間のメッセージングシステム 100 の使用へ移行することが可能になる。このことは、信頼性がない可能性のある SMS サービスと比較して、メッセージの受信を含む信頼性のあるメッセージ配信を企業に提供することができる。このことは、顧客および企業の双方に、消費者・企業間サービス 110 によって利用できるようになるリッチな商業インタフェースを提供することができ、それによって潜在的に顧客の企業の利用が高まるとともに、顧客の企業の利用しやすさが増す。

10

【0108】

消費者・企業間サービス 110 は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に対して、ユーザアカウントに関連付けられているユーザアカウントのアクセスを受信してもよい。例えば、ユーザはクライアントデバイス 120 を介して企業の企業ページを訪問してもよい。企業ページへの訪問後にユーザをフォローアップしたい場合、企業にはスコープ識別子 510 が提供されてもよい。消費者・企業間サービス 110 は、ユーザアカウントアクセスの受信に応答して、商業フロントエンドアプリケーションにスコープ識別子 510 を送信してもよい。

20

【0109】

消費者・企業間サービス 110 は、商業エンティティに関連付けられている商業メッセージングアプリケーション 593 から商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 を受信してもよく、この商業からユーザへのメッセージはスコープ識別子 510 に宛てて送られ、商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 が商業からユーザへのメッセージを含む。消費者・企業間サービス 110 はスコープ識別子に基づいてユーザアカウントを識別してもよい。商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 はページスコープ識別子およびページ識別子の両方を含んでもよく、これらを組み合わせて、ユーザアカウントを一意に識別することができる。消費者・企業間サービス 110 はユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイス 120 に商業からユーザへのメッセージを送信してもよい。クライアントデバイス 120 へのメッセージの送信は、メッセージングシステム 140 とのメッセージングクライアントの動作の一部として、プッシュおよび／またはプル動作を含み得る。

30

【0110】

商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 は、商業メッセージングアプリケーション 593 によって特定のメッセージスレッドに宛てて送られてもよい。メッセージスレッドは、特定のユーザアカウントと商業表現物 (例、企業ページ) との組み合わせに一意に関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドであってもよい。このように、消費者・企業間サービス 110 は商業メッセージングアプリケーション 593 から商業仲介サーバで商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 を受信してもよく、この商業メッセージングアプリケーション 593 は商業エンティティに関連付けられていて、商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 がメッセージングシステム 140 によるメッセージスレッドに宛てて送られる。

40

【0111】

いくつかの実施形態において、商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 は、商業エンティティに関連付けられているカスタムメッセージテンプレートに従って指定されてもよい。カスタムテンプレートは、J A V A (登録商標) S c r i p t (登録商標) など、スクリプト言語に従って定義されてもよい。消費者・企業間サービス 110 は、カス

50

タムメッセージテンプレートなど、カスタムテンプレートを作成するためのツールを提供してもよい。これらのツールはカスタムテンプレートのライブプレビューを提供してもよい。カスタムメッセージテンプレートを含むカスタムテンプレートは、消費者・企業間サービス110の人間の管理者によるレビューの対象であってもよく、これはアプリケーションレビュープロセスの一部として行われてもよい。カスタムテンプレートは特定の商業アプリケーションに関連して定義され、承認されてもよい。

【0112】

消費者・企業間サービス110は、商業メッセージングアプリケーション593に関連してアプリケーション登録パッケージを受信してもよい。消費者・企業間サービス110は、アプリケーション登録パッケージに回答して、商業仲介サーバにアクセスするために、商業メッセージングアプリケーション593を登録してもよい。アプリケーション登録パッケージはユーザとの通信で使用するために、様々なカスタムテンプレートを定義してもよい。アプリケーション登録パッケージは、カスタムメッセージテンプレート、カスタムフォームテンプレート、およびカスタム行動喚起ボタンのうちの1つまたは複数

10

【0113】

行動喚起ボタンは特定のアクションへのアクセスを可能にする制御部を含んでもよく、関連する視覚的表現はユーザにそのアクションに関わることを勧める。いくつかの行動喚起ボタンは消費者・企業間のメッセージングシステム100で事前構築されて、その商業アプリケーションとともに使用するために企業に提供されてもよい。例えば、位置情報の共有、コンテンツの共有およびトークン決済のいずれかまたは全部の行動喚起ボタンが、商業アプリケーションとともに使用するために利用できるようにされてもよい。大まかな位置しか商業アプリケーションによって使用されない場合など（例、都市の特殊性で）、これらの機能のうちのいくつかのカスタム版も企業によって構築できるので、低電力の位置決定手法を利用することのできる具体性の低い位置情報共有行動喚起ボタンが使用される。カスタムCTAは、カスタムテンプレートとともに、または事前構築済みのテンプレートの一要素として含まれるCATとしてのいずれでも使用することができる。

20

【0114】

アプリケーション登録パッケージは、メッセージスレッドのカスタムようこそテキストメッセージ、メッセージスレッドのカスタム開始行動喚起ボタン、メッセージスレッドの1つまたは複数のカスタム常駐行動喚起ボタン、および対話を開始するための1つまたは複数のカスタムダイナミックトリガのうちの1つまたは複数

30

【0115】

アプリケーション登録パッケージはカスタム行動喚起ボタンを定義してもよく、前記カスタム行動喚起ボタンは視覚的表現情報および起動応答情報を含み、この起動応答情報はユニフォームリソースロケータ（URL）、アプリケーションリンク、およびメッセージング呼び出しのうちの1つまたは複数を含む。URLを含む起動応答情報を含む行動喚起ボタンが選択されると、そのURLへのウェブアクセスを呼び出すことができる。アプリケーションリンクを含む起動応答情報を含む行動喚起ボタンを選択すると、アプリケーションリンクを使用してアプリケーションへのアクセスを呼び出すことができる。メッセージング呼び出しを含む起動応答情報を含む行動喚起ボタンを選択すると、商業メッセージングアプリケーション593にメッセージを送信することができる。

40

【0116】

50

ユーザが1つまたは複数の商業アプリケーションによって提供される商業表現物に関わり合ったことに応答して、商業アプリケーション、または複数の商業アプリケーションのカスタムテンプレートをユーザの1つまたは複数のクライアントデバイスに提供してもよい。クライアントデバイス120がメッセージングシステム140内の商業エンティティにアクセスしたことに応答して、消費者・企業間サービス110はカスタムメッセージテンプレート、カスタムフォームテンプレート、およびカスタム行動喚起ボタンのうちの1つまたは複数を送信してもよい。

【0117】

商業メッセージングアプリケーション593から商業からユーザへの330メッセージパッケージを受信したことに応答して、消費者・企業間サービス110はメッセージスレッドに関連して商業メッセージングアプリケーション593の商業アクセス権限を決定してもよい。商業アクセス権限は、商業メッセージングアプリケーション593が商業からユーザへのメッセージパッケージ530をメッセージスレッドに投稿する許可を有しているかどうかを決定することができる。消費者・企業間サービス110は、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを示す場合、メッセージスレッドに関連付けられているクライアントデバイス120に商業からユーザへのメッセージパッケージ530を送信し、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを拒否する場合、商業メッセージパッケージを拒否することができる。メッセージスレッドはメッセージングシステムのユーザのユーザアカウントに関連付けられてもよく、このユーザ識別子はユーザアカウントのページスコープ識別子を含み、ページスコープ識別子は、企業ページなど、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関して、メッセージングシステムのユーザアカウントを識別する。

【0118】

商業アクセス権限は、商業メッセージパッケージに関連して受信される期間限定アクセストークンに従って決定することもできる。消費者・企業間サービス110は、ユーザがユーザ間メッセージスレッドで企業に関わり合ったことに応答して、期間限定アクセストークンを提供してもよい。例えば、ユーザは企業サービスの手配のために、ユーザ間メッセージスレッドで商業インタフェースを利用してもよい。このユーザの利用は、ある場合には、サービスの手配が完了しているかどうかに関係なく、商業エンティティに、サービスの手配のためのスレッドで1つまたは複数のユーザと関わり合うために、限定された、決められた期間の間、ユーザ間メッセージスレッドにメッセージを送信することを許可することができる。メッセージスレッドはユーザ間メッセージスレッドであってもよい。商業からユーザへのメッセージパッケージ530は、消費者・企業間サービス110によって、同じくユーザ間メッセージスレッドに関わる異なるユーザによって使用される追加受信者クライアントデバイス125、またはユーザ間メッセージスレッドに関わる複数の他のユーザのうちの個別のユーザによってそれぞれ使用される複数の追加受信者クライアントデバイスにも送信されてもよい。同様に、ユーザ間メッセージスレッドでユーザが商業エンティティに向けたメッセージングも、他のユーザに関連付けられている他の受信者クライアントデバイスへのユーザから商業へのメッセージパッケージ535の配信を通じて、ユーザ間メッセージスレッドの他の参加者に送信されてもよい。

【0119】

商業アクセス権限は、商業からユーザへのメッセージパッケージ530に関連付けられているスポンサー付きメッセージング要求に従って決定することもできる。スポンサー付きメッセージング要求は、ユーザに連絡する権限を得るための企業から消費者・企業間サービス110への支払に関連付けることができる。企業が、ユーザがメッセージスレッド内で企業と関わったことに応答して付与される許可以外で、商業からユーザへのメッセージパッケージ530をメッセージスレッドに送信するよう要求する場合、消費者・企業間サービス110は、支払が行われた場合にのみ送信を許可するために、商業エンティティと関わり合ってもよい。

【0120】

消費者・企業間サービス 110 は、消費者・企業間のシステムメッセージング 100 の悪用を防止するためのスパム防止ポリシーを実施してもよい。したがって、商業アクセス権限は、メッセージ制限ポリシーに従って決定することもできる。商業エンティティ、商業表現物、または商業アプリケーションは、決められた期間の間に送信できるメッセージの数に制限を受けることがある。消費者・企業間サービス 110 は自動サンプリングポリシーに基づいて自動サンプリングの商業アクセス権限を選択してもよい。商業アプリケーションが送信するメッセージのサンプルが収集されて、人間によるレビューを受けることがあるが、商業アプリケーションまたは商業エンティティがユーザにメッセージを提出する権限は、人間によるレビューの特定の割合がスパムが送信されていることを示す場合には停止される。消費者・企業間サービス 110 は、追加的にまたは代替的に、商業からユーザへのメッセージパッケージのキーワードベースのスパム分析を行い、キーワードベースのスパム分析によりメッセージがスパムであることを示される場合には、それを拒否し、または人間によるレビューを受けさせてもよい。

10

【0121】

クライアントデバイス 120 のメッセージングクライアントは、商業エンティティまたは商業表現物に対するブロック制御部を含み得る。メッセージングクライアントはメッセージスレッドに関連してユーザブロックコマンドを受信し、ユーザブロックコマンドを消費者・企業間サービス 110 に渡すことができ、その後、ユーザにメッセージ送信するためにメッセージスレッドに関連付けられている商業エンティティによるアクセスをブロックすることができる。消費者・企業間サービス 110 は、ユーザブロックコマンドにตอบสนองして、商業エンティティに関連する否定的な評判調整を登録してもよい。消費者・企業間サービス 110 は各商業エンティティについて評判スコアを維持してもよく、ユーザブロックコマンドの受信を商業エンティティの評判スコアの低下につなげてよい。

20

【0122】

クライアントデバイス 120 または受信者クライアントデバイス 125 は、メッセージングシステム 140 を介して、商業エンティティから商業からユーザへのメッセージを含む商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 を受信することができる。クライアントデバイス 120 のメッセージングクライアントは、商業からユーザへのメッセージパッケージ 530 を受信し、ユーザから商業へのメッセージスレッドに関連する商業からユーザへのメッセージをクライアントデバイスに表示することもできる。商業からユーザへのメッセージは商業エンティティに関連付けられているカスタムメッセージテンプレートに従って定義されてもよく、この商業メッセージングアプリケーション 593 から受信された商業からユーザへのメッセージはメッセージングシステム 140 に登録され、商業メッセージングアプリケーション 593 は商業エンティティに関連付けられており、カスタムメッセージテンプレートは商業メッセージングアプリケーション 593 のためにメッセージングシステムに登録される。

30

【0123】

クライアントデバイス 120 のメッセージングクライアントは、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを含み得る。ユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースは、商業エンティティのカスタム行動喚起ボタンを含んでもよい。メッセージングクライアントはカスタム行動喚起ボタンのユーザの行動喚起ボタンの起動を受信し、カスタム行動喚起ボタンのユーザの行動喚起ボタンの起動を受信したことにตอบสนองして、ユーザから商業へのメッセージを生成する。メッセージングクライアントのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースは、メッセージスレッドのカスタムようこそテキストメッセージ、メッセージスレッドのカスタム開始行動喚起ボタン、メッセージスレッドの 1 つまたは複数のカスタム常駐行動喚起ボタン、および対話を開始するための 1 つまたは複数のカスタムトリガのうちの 1 つまたは複数を含み得る。

40

【0124】

ユーザから商業へのメッセージスレッドはユーザアカウントに関連付けられてもよく、

50

ユーザと商業エンティティとの間の対話を整理するために使用される。メッセージングクライアントはクライアントデバイスにユーザ・商業間発見インタフェースを表示してもよく、前記ユーザ・商業間発見インタフェースは複数のユーザ・商業間の選択肢案を含む。この複数のユーザ・商業間の選択肢案は、ユーザアカウントのプロフィール情報、1つまたは複数の商業エンティティの販促検討情報のうちの1つまたは複数に従って選択されてもよい。消費者・企業間サービス110はユーザが関心をもつかもしいないユーザ・商業間の選択肢の予測を生成してもよい。これらの選択肢は、同様なプロフィールを有する他のユーザについて検出されたプリファレンスに基づいてカスタマイズするなど、ユーザのユーザアカウントのプロフィール情報に基づいてユーザに合わせてカスタマイズすることができる。選択肢は、追加的にまたは代替的に、その現在地など、ユーザの検出されたコンテキストに基づいてカスタマイズしてもよい。選択肢のカスタマイズは、ディスプレイの選択肢の選択、および選択肢のランク付けの両方を含んでもよい。販促検討情報は、商業エンティティが選択肢に含まれるために優先的な選択または選択肢のランキング内で優先的な順位を受けるために支払を行ったことを示すことができる。

10

【0125】

消費者・企業間サービス110はユーザから商業へのメッセージに関連して商業エンティティにユーザクレデンシャルを送信してもよく、このユーザクレデンシャルはユーザから商業へのメッセージパッケージ535に含まれる。ユーザクレデンシャルは商業アプリケーションに対してユーザを認証することができる。ある場合には、メッセージングクライアントがユーザに代わって企業のサービスを手配するためにユーザクレデンシャルを使用することを可能にするために、メッセージングクライアントにユーザクレデンシャルを入力するようユーザに求めてもよい。しかし、ある場合には、ユーザクレデンシャルは企業のローカルアプリケーションから検索してもよい。商業エンティティはクライアントデバイスのローカルアプリケーションに関連付けられていることがあり、メッセージングクライアントはローカルアプリケーション内のディープリンクを介してローカルアプリケーションからユーザクレデンシャルを検索することができる。

20

【0126】

消費者・企業間サービス110、および特にメッセージングシステム140は、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイス120から、ユーザから商業へのメッセージを含むユーザから商業へのメッセージパッケージ535を受信してもよい。ユーザから商業へのメッセージは商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てて送られてもよい。このユーザから商業へのメッセージを送信するユーザは、商業エンティティと関わり合うことに対するユーザの同意を示すであろう。消費者・企業間サービス110は、ユーザの同意を示すために、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を設定することもできる。ある場合には、ユーザから商業へのメッセージは、商業エンティティに関連付けられている商業メッセージングアプリケーション593によってクライアントデバイス120に送信される商業からユーザへのメッセージに対する応答を含んでもよい。

30

【0127】

ユーザから商業へのメッセージスレッドは、メッセージングクライアントを介してユーザが利用できる複数のメッセージスレッドのうちの1つを含むことができる。ユーザがメッセージスレッドを選択して閲覧することを可能にするメッセージングクライアントによって、メッセージスレッド選択インタフェースを表示することができる。メッセージングクライアントはクライアントデバイス120でユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザインタフェース選択を受信することができ、このユーザから商業へのメッセージスレッドはメッセージングシステム140の商業エンティティに関連付けられている。メッセージングクライアントは、ユーザインタフェースの選択に応答して、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを表示することができる。ユーザはユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを介して、ユーザから商業へのメッセージを作成することができる。メッセージングクライアン

40

50

トは、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを介してユーザから商業へのメッセージを受信することができ、ユーザから商業へのメッセージをユーザから商業へのメッセージパッケージ535としてメッセージングシステム140を介して商業エンティティに送信することができる。

【0128】

ユーザ間メッセージスレッドは複数のメッセージスレッドのうちの1つを含むことができる。ユーザ間メッセージスレッドはユーザ間メッセージスレッドインタフェースを用いて表示することができ、このユーザ間メッセージスレッドインタフェースは2名以上のユーザ間のメッセージング対話を整理する。メッセージングクライアントはクライアントデバイス120でユーザ間メッセージスレッドインタフェースの商業インタフェース制御部選択を受信することができ、このユーザ間メッセージスレッドはメッセージングシステム140の複数のユーザのユーザ間メッセージスレッドに関連付けられている。商業インタフェース制御部選択は、商業対話に関わる商業エンティティの選択を含むことができる。メッセージングクライアントはユーザ間メッセージスレッドインタフェースに関連して商業インタフェースを表示してもよく、この商業インタフェースは複数の商業構成選択肢を含む。ユーザ間メッセージスレッドインタフェースに関連して表示される商業インタフェースは、商業インタフェースの表示中に見えるユーザ間メッセージスレッドインタフェースの少なくとも一部を含むことができる。

【0129】

メッセージングクライアントは商業インタフェースに関連して商業選択肢共有制御部選択を受信することができる。メッセージングクライアントは、商業選択肢共有制御部選択に応答して、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有することもできる。複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有することは、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージとしてユーザ間メッセージスレッドに投稿することを含み得る。したがって、複数の商業構成選択肢は、ユーザ間メッセージスレッドに関連付けられている複数のユーザに関連付けられている複数のデバイスにメッセージとして送信することもできる。このことは、ユーザによる商業構成選択肢の議論を促すことができ、それによってユーザが、夕食を食べるレストラン、いつ夕食を食べるかなどを集団で決めるなど、サービスの構成を集団で決めるのを助ける。

【0130】

複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有することは、ユーザ間メッセージスレッドに商業構成選択肢投票を提出することを含み得る。メッセージスレッドのメンバーが使用するクライアントデバイスはクライアントデバイスに表示できる商業構成選択肢投票を受信することができ、ユーザが自分の望ましい構成選択肢を選択することを可能にする。投票を開始したクライアントデバイス120のユーザは、投票に参加する、または投票への参加を控えることも可能である。クライアントデバイス120はメッセージングシステム140を介して他のクライアントデバイスから商業構成選択肢投票の投票結果情報を受信することができる。クライアントデバイス120のメッセージングクライアントは商業構成選択肢投票の投票結果情報を、例えば選択肢のそれぞれの票数を表示することによって、および／または票の最も多い当選した選択肢を表示することによって表示してもよい。このように、商業構成選択肢投票の投票結果情報は、商業インタフェースの複数の商業構成選択肢に関連して表示してもよい。投票結果情報は複数の商業構成選択肢のうちの1つに対応する当選選択肢を含んでもよく、メッセージングクライアントは商業インタフェースの複数の商業構成選択肢のディスプレイに、当選選択肢に関連して当選インジケータを表示してもよい。

【0131】

商業インタフェースは商業エンティティに関連付けることができ、複数の商業構成選択肢は、ユーザ間メッセージスレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうちの1つまたは複数に従って、商業インタフェースについて選択される。追加的にまたは代替的に、複数の商業構成選択肢は、ユーザ間メッセージ

スレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうち、1つまたは複数に従って、商業インタフェースでランク付けされてもよい。選択された商業エンティティはメッセージングスレッドのコンテキストおよび／または販促検討に基づいて販促されたものである。商業インタフェース制御部選択は商業インタフェース制御部に関するものであり、メッセージングクライアントはユーザ間メッセージスレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうち、1つまたは複数に回答して商業インタフェース制御部を表示する。代替的に、メッセージングクライアントは、ユーザ間メッセージスレッドで検出されたトリガおよび発見制御部選択のうち、1つまたは複数に回答して商業インタフェース制御部を表示してもよい。メッセージングクライアントは商業インタフェースを介して商業選択肢選択を受信し、クライアントデバイス120から商業エンティティにメッセージングシステム140を介して商業構成コマンドを送信してもよい。

10

【0132】

商業メッセージングアプリケーション593により表されるような商業エンティティは、ユーザから商業へのメッセージに回答することができる。クライアントデバイス120は商業エンティティからメッセージングシステム140を介して、商業からユーザへのメッセージパッケージでユーザ間メッセージスレッドのメッセージを受信することができる。ユーザ間メッセージスレッドのメッセージは、商業エンティティがユーザ間メッセージスレッドに宛てたメッセージである。クライアントデバイス120のメッセージングクライアントは、ユーザ間メッセージスレッドに関連してユーザ間メッセージスレッドのメッセージを記憶し、ユーザ間メッセージスレッドインタフェースでユーザ間メッセージスレッドのメッセージを表示してもよい。ユーザ間メッセージスレッドが複数のユーザに関連付けられていて、そのため複数のクライアントデバイスに関連付けられているため、ユーザ間メッセージスレッドメッセージは別のユーザに関連付けられている異なる受信者クライアントデバイス125によっても受信することができる。

20

【0133】

商業メッセージングアプリケーション593は、また、商業からユーザへのパッケージでユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを提出することもできる。クライアントデバイス120は商業エンティティからメッセージングシステム140を介してユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを受信することができる。クライアントデバイス120のメッセージングクライアントはユーザから商業へのメッセージスレッドに関連してユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを記憶し、ユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースにユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを表示する。ユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージはユーザ間メッセージスレッドのアクションに回答して呼び出すこともでき、このユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージはユーザ間メッセージスレッドに指定されていない情報を含む。ユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージはユーザ間メッセージスレッドのメッセージと並行してまたは順次受信されてもよく、前者はサービスを依頼するユーザのみに関する情報を含み、後者はユーザ間メッセージスレッドの参加者全員に関する情報を含む。例えば、国内旅行に関し、ユーザ間メッセージスレッドは、到着場所および予定到着時刻などのあまり個人的ではない説明が提供されてもよいが、例えば、2人以上の人が落ち合うのを調整しようとする場合に使用することもできる。ユーザから商業へのメッセージスレッドは、集合場所、予定の旅費、旅行の領収証、旅行の運転手のアイデンティティ、および／またはサービスを依頼するユーザに関わる他の説明を含むなど、より個人的な説明を提供することもできるが、他のユーザにとっては、プライバシー保護のため、または会話が進行中であるかもしれないユーザ間メッセージスレッドに不要な情報を負担させたくないために適切ではないかもしれない。どの情報をユーザ間またはユーザ・商業間のいずれのスレッドに配信するかは、商業メッセージングアプリケーション593によって構成することができる。

30

40

【0134】

50

商業連絡アプリケーション 596 は、ユーザに関する情報を要求するために使用することができる。消費者・企業間サービス 110 は商業連絡アプリケーション 596 からのユーザ情報要求 540 を商業仲介サーバで受信することができ、この商業連絡アプリケーション 596 はメッセージングシステム 140 内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられている。ユーザ情報要求はユーザアカウントのスコープ識別子 510 に関するものである。

【0135】

消費者・企業間サービス 110 は、ユーザアカウントのスコープ識別子 510 について、ユーザアクセス同意設定を決定してもよい。ユーザアクセス同意設定は、ユーザのプライベート情報を商業エンティティに配信するかどうかを制御することができる。消費者・企業間サービス 110 は、スコープ識別子 510 についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求 540 に応答して、商業仲介サーバから商業連絡アプリケーション 596 にユーザ情報データパッケージ 545 を送信することができる。消費者・企業間サービス 110 は、スコープ識別子 510 についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求 540 を拒否することができる。ユーザ情報要求 540 を拒否することは、商業連絡アプリケーション 596 への拒否メッセージを送信することを含み得る。ユーザ情報データパッケージ 545 はユーザアカウントの氏名情報、ユーザアカウントの連絡先情報、およびユーザアカウントの経歴のうちの 1 つまたは複数を含んでもよい。

【0136】

本明細書では、開示されるアーキテクチャの新規な態様を実施するための例示的な方法を示す一式のフローチャートを記載している。本明細書で示す 1 つまたは複数の方法は、説明を簡単にするために、例えばフローチャートまたはフロー図の形式で、一連の動作として図示および記載しているが、それらの方法は、その動作の順序に限定されるものではなく、本発明によるいくつかの動作は、本明細書で図示および記載しているのとは異なる順序で、かつ／または他の動作と同時に実施してよいことは、理解および認識されるべきである。例えば、方法は、代替的に、状態図のような一連の相関した状態または事象として表すことができることは、当業者であれば理解および認識できるであろう。また、新規な実施のために、方法に示すすべての動作が必要であるとは限らない。

【0137】

図 6 A は、第 1 の論理フロー 600 の 1 つの実施形態を示す。論理フロー 600 は、本明細書で説明する 1 つまたは複数の実施形態によって実行される一部または全部の動作を表す。

【0138】

図 6 A に示される図示された実施形態では、論理フロー 600 は、ブロック 602 で、商業仲介サーバから商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信してもよく、商業フロントエンドアプリケーションは商業エンティティに関連付けられており、ページスコープ識別子はメッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別する。

【0139】

論理フロー 600 は、ブロック 604 で、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を商業仲介サーバで受信してもよく、商業連絡アプリケーションはメッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられており、ユーザ情報要求はページスコープ識別子に関するものである。

【0140】

論理フロー 600 は、ブロック 606 で、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定してもよい。

論理フロー 600 は、ブロック 608 で、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して、商業仲介サーバから商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信してもよい。

【0141】

論理フロー600は、ブロック610で、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求を拒否してもよい。

図6Bは、第2論理フロー620の一実施形態を示す。論理フロー620は、本明細書に記載される1つまたは複数の実施形態によって実行される動作のいくつかまたは全部を表すものであってもよい。

【0142】

図6Bに示される図示された実施形態では、論理フロー620は、ブロック622で、商業メッセージングアプリケーションから商業仲介サーバで商業メッセージパッケージを受信してもよく、商業メッセージングアプリケーションは商業エンティティに関連付けられており、商業メッセージパッケージはメッセージングシステムによるメッセージスレッドに宛てて送られる。

10

【0143】

論理フロー620は、ブロック624で、メッセージスレッドに関連して商業メッセージングアプリケーションの商業アクセス権限を決定してもよい。

論理フロー620は、ブロック626で、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを示す場合には、メッセージスレッドに関連付けられているクライアントデバイスに商業メッセージパッケージを送信してもよい。

【0144】

論理フロー620は、ブロック628で、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを拒否する場合には、商業メッセージパッケージを拒否してもよい。

20

図6Cは、第3論理フロー640の一実施形態を示す。論理フロー640は本明細書に記載される1つまたは複数の実施形態によって実行される動作のいくつかまたは全部を表すものであってもよい。

【0145】

図6Cに示される図示された実施形態では、論理フロー640は、ブロック642において、クライアントデバイスでユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザインタフェース選択を受信してもよく、ユーザから商業へのメッセージスレッドはメッセージングシステムにより商業エンティティに関連付けられている。

【0146】

論理フロー640は、ブロック644で、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを表示してもよい。

30

論理フロー640は、ブロック646で、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを介してユーザから商業へのメッセージを受信してもよい。

【0147】

論理フロー640は、ブロック648で、メッセージングシステムを介して商業エンティティにユーザから商業へのメッセージを送信してもよい。

図6Dは、第4論理フロー660の一実施形態を示す。論理フロー660は本明細書に記載される1つまたは複数の実施形態によって実行される動作のいくつかまたは全部を表すものであってもよい。

40

【0148】

図6Dに示される図示された実施形態では、論理フロー660は、ブロック662において、クライアントデバイスでユーザ間メッセージスレッドインタフェースの商業インタフェース制御部選択を受信してもよく、ユーザ間メッセージスレッドはメッセージングシステムにより複数のユーザのユーザ間メッセージスレッドに関連付けられている。

【0149】

論理フロー660は、ブロック664で、ユーザ間メッセージスレッドインタフェースに関連して商業インタフェースを表示してもよく、商業インタフェースは複数の商業構成選択肢を含む。

50

【0150】

論理フロー660は、ブロック666で、商業インタフェースに関連して商業選択肢共有制御部選択を受信してもよい。

論理フロー660は、ブロック668で、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有してもよい。

【0151】

実施形態はこの例に限定されない。

図7は、集中型システム700のブロック図を示す。集中型システム700は、単一集中型サーバデバイス720の全範囲などの、単一の計算エンティティ内の消費者・企業間のメッセージングシステム100のための構造および／または動作のうちのいくつかまたは全てを実装することができる。

10

【0152】

集中型サーバデバイス720は、消費者・企業間のメッセージングシステム100のための情報を受信し、処理し、送信することができる任意の電子デバイスを含むことができる。電子デバイスの例は、限定ではないが、ウルトラモバイルデバイス、モバイルデバイス、携帯情報端末(PDA)、モバイルコンピューティングデバイス、スマートフォン、電話、デジタル電話、携帯電話、電子書籍リーダ、ハンドセット、ワンウェイページャ、ツーウェイページャ、メッセージングデバイス、コンピュータ、パーソナルコンピュータ(PC)、デスクトップコンピュータ、ラップトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ、ネットブックコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、タブレットコンピュータ、サーバ、サーバレイもしくはサーバファーム、ウェブサーバ、ネットワークサーバ、インターネットサーバ、ワークステーション、ミニコンピュータ、メインフレームコンピュータ、スーパーコンピュータ、ネットワーク機器、ウェブ機器、分散コンピューティングシステム、マルチプロセッサシステム、プロセッサベースのシステム、家庭用電子機器、プログラム可能な家庭用電子機器、ゲームデバイス、テレビ、デジタルテレビ、セットトップボックス、無線アクセスポイント、基地局、加入者局、モバイル加入者センター、無線ネットワークコントローラ、ルータ、ハブ、ゲートウェイ、ブリッジ、スイッチ、マシン、またはそれらの組合せを含むことができる。実施形態は、これに限定されない。

20

【0153】

集中型サーバデバイス720は、処理コンポーネント730を使用して、消費者・企業間のメッセージングシステム100のための処理動作またはロジックを実行することができる。処理コンポーネント730は、様々なハードウェア要素、ソフトウェア要素、または双方の組合せを含むことができる。ハードウェア要素の例は、デバイス、論理デバイス、コンポーネント、プロセッサ、マイクロプロセッサ、回路、プロセッサ回路、回路素子(例えば、トランジスタ、レジスタ、キャパシタ、インダクタ等)、集積回路、特定用途向け集積回路(ASIC)、プログラマブルロジックデバイス(PLD)、デジタルシグナルプロセッサ(DSP)、フィールドプログラマブルゲートアレイ(FPGA)、メモリユニット、論理ゲート、レジスタ、半導体デバイス、チップ、マイクロチップ、チップセット等を含むことができる。ソフトウェア要素の例は、ソフトウェアコンポーネント、プログラム、アプリケーション、コンピュータプログラム、アプリケーションプログラム、システムプログラム、ソフトウェア開発プログラム、マシンプログラム、オペレーティングシステムソフトウェア、ミドルウェア、ファームウェア、ソフトウェアモジュール、ルーチン、サブルーチン、機能、方法、プロシージャ、ソフトウェアインタフェース、アプリケーションプログラミングインタフェース(API)、命令セット、コンピューティングコード、コンピュータコード、コードセグメント、コンピュータコードセグメント、単語、値、シンボル、またはそれらの任意の組合せを含むことができる。実施形態がハードウェア要素を用いて実装されるか、かつ／またはソフトウェア要素を用いて実装されるかを判断することは、所望の計算速度、パワーレベル、耐熱性、処理サイクルバジェット、入力データレート、出力データレート、メモリリソース、データバス速度および他の設計または性能の制約等の任意の数の要因に従って、所与の実施態様にとって望ましいとお

30

40

50

りに変動することができる。

【0154】

集中型サーバデバイス720は、通信コンポーネント740を使用して、消費者・企業間のメッセージングシステム100のための通信動作またはロジックを実行することができる。通信コンポーネント740は、パケット交換ネットワーク（例えば、インターネット等の公衆ネットワーク、社内イントラネット等のプライベートネットワーク等）、回路交換網（例えば、公衆交換電話網）、またはパケット交換ネットワークおよび回路交換網の（適切なゲートウェイおよび変換器を用いた）組合せ等と共に用いるのに適した技法等の、任意周知の通信技法およびプロトコルを実施することができる。通信コンポーネント740は、1つまたは複数の通信インタフェース、ネットワークインタフェース、ネット
10
ワークインタフェースカード（NIC：Network Interface Card）、無線通信デバイス、無線送信機／無線受信機（トランシーバ）、有線および／または無線通信媒体、物理的コネクタ等の様々なタイプの標準的な通信要素を含むことができる。限定ではないが、例として、通信媒体712は、有線通信媒体および無線通信媒体を含む。有線通信媒体の例は、有線、ケーブル、金属導線、プリント回路基板（PCB）、バックプレーン、スイッチファブリック、半導体材料、ツイストペア線、同軸ケーブル、光ファイバ、伝搬信号等を含むことができる。無線通信媒体の例は、音響、無線周波数（RF）スペクトル、赤外線および他の無線媒体を含むことができる。

【0155】

集中型サーバデバイス720は、単一コンピューティングエンティティ内に消費者・企業間サービス110を実装してもよい。集中型サーバデバイス720は通信コンポーネント740を介する通信信号714を用いて、通信媒体712を通じて他のデバイスと通信してもよい。デバイスは、所与の実施態様にとって望ましいとおりに、集中型サーバデバイス720の内部または外部であってもよい。集中型サーバデバイス720は、例えば、クライアントデバイス120および受信者クライアントデバイス125を含み得る複数のクライアントデバイス710と通信してもよい。

【0156】

図8は、分散型システム800のブロック図を示す。分散型システム800は、消費者・企業間のメッセージングシステム100について、その構造および／またはオペレーションの部分を複数のコンピューティングエンティティに分散させることができる。分散シ
30
ステム800の例として、限定するものではないが、クライアントサーバアーキテクチャ、3層アーキテクチャ、N層アーキテクチャ、密結合またはクラスタアーキテクチャ、ピアツーピアアーキテクチャ、マスタスレーブアーキテクチャ、共有データベースアーキテクチャ、および他のタイプの分散型システムを含むことができる。実施形態は、この状況では限定されない。

【0157】

分散型システム800は、複数の分散型サーバデバイス810を備え得る。概して、分散型サーバデバイス810は、図7を参照して説明したような集中型サーバデバイス720と同じまたは類似したものであり得る。例えば、分散型サーバデバイス810は、それぞれ、処理コンポーネント830および通信コンポーネント840を備えることができ、
40
それらは図7を参照して説明したような処理コンポーネント730および通信コンポーネント740とそれぞれ同じまたは類似したものである。他の例では、分散型サーバデバイス810は、通信コンポーネント840を介して、通信信号814を用いて通信媒体812を通して通信することができる。

【0158】

分散型サーバデバイス810は、記載された実施形態に従って、様々な方法を実行するように動作する1つまたは複数のサーバプログラムを備えるか、または採用することができる。一実施形態では、例えば、分散型サーバデバイス810はそれぞれ1つまたは複数の消費者・企業間サーバ815を実装してもよい。消費者・企業間サーバ815は消費者・企業間サービス110を分散型コンピューティングエンティティとして集合的に実装し
50

てもよい。消費者・企業間サーバ 815 は、例えば、クライアントデバイス 120、受信者クライアントデバイス 125 およびクライアントデバイス 710 を含む得る複数のクライアントデバイス 820 と通信してもよい。

【0159】

図 9 は、上記に記載の様々な実施形態を実施するのに適した例示的なコンピューティングアーキテクチャ 900 の一実施形態を示す。1 つの実施形態では、コンピューティングアーキテクチャ 900 は、電子デバイスを備えるか、電子デバイスの一部として実施されることが可能である。電子デバイスの例は、中でも、図 7、8 を参照して説明したものを含むことができる。実施形態は、これに限定されない。

【0160】

本出願において用いられるとき、「システム」および「コンポーネント」という語は、ハードウェア、ハードウェアおよびソフトウェアの組合せ、ソフトウェア、または実行中のソフトウェアのいずれかである、コンピュータに関係したエンティティを指すことを意図され、それらの例が、例示的なコンピューティングアーキテクチャ 900 によって提供される。例えば、コンポーネントは、限定ではないが、プロセッサにおいて実行されるプロセス、プロセッサ、ハードディスクドライブ、(光学および/または磁気記録媒体の) マルチ記録ドライブ、オブジェクト、実行ファイル、実行スレッド、プログラムおよび/またはコンピュータであり得る。例示のために、サーバ上で実行されるアプリケーションおよびサーバの双方がコンポーネントであり得る。1 つまたは複数のコンポーネントがプロセスおよび/または実行スレッド内に常駐することができ、コンポーネントは、1 つのコンピュータ上に局在することができ、および/または 2 つ以上のコンピュータ間で分散され得る。更に、コンポーネントは、動作を協調させるように、様々なタイプの通信媒体によって互いに通信可能に結合され得る。協調は、情報の一方向または双方向の交換を含むことができる。例えば、コンポーネントは、通信媒体により通信される信号の形態で情報を通信することができる。情報は、様々な信号線に割り当てられる信号として実施され得る。そのような割り当てにおいて、各メッセージは信号である。一方、更なる実施形態は、代替的にデータメッセージを用いることができる。そのようなデータメッセージは、様々な接続にわたって送信され得る。例示的な接続は、パラレルインタフェース、シリアルインタフェースおよびバスインタフェースを含む。

【0161】

コンピューティングアーキテクチャ 900 は、1 つまたは複数のプロセッサ、マルチコアプロセッサ、コプロセッサ、メモリユニット、チップセット、コントローラ、周辺機器、インタフェース、オシレータ、タイミングデバイス、ビデオカード、オーディオカード、マルチメディア入出力 (I/O) コンポーネント、電源等の様々な一般的なコンピューティング要素を含む。しかしながら、実施形態は、コンピューティングアーキテクチャ 900 による実施に限定されない。

【0162】

図 9 に示すように、コンピューティングアーキテクチャ 900 は、処理ユニット 904、システムメモリ 906、およびシステムバス 908 を備える。処理ユニット 904 は、限定ではないが、AMD (登録商標) プロセッサ、Athlon (登録商標) プロセッサ、Duron (登録商標) プロセッサおよび Opteron (登録商標) プロセッサ; ARM (登録商標) のアプリケーションプロセッサ、組み込み型プロセッサおよびセキュアプロセッサ; IBM (登録商標) および Motorola (登録商標) の DragonBall (登録商標) プロセッサおよび PowerPC (登録商標) プロセッサ; IBM および Sony (登録商標) のセルプロセッサ; Intel (登録商標) の Celeron (登録商標) プロセッサ、Core (2) Duo (登録商標) プロセッサ、Itanium (登録商標) プロセッサ、PENTIUM (登録商標) プロセッサ、Xeon (登録商標) プロセッサおよび XScale (登録商標) プロセッサ; ならびに同様なプロセッサを含む様々な市販のプロセッサのうちの任意のものであり得る。デュアルマイクロプロセッサ、マルチコアプロセッサ、および他のマルチプロセッサアーキテクチャも処理ユニット

904として用いられることが可能である。

【0163】

システムバス908は、限定ではないがシステムメモリ906を含むシステムコンポーネントのためのインタフェースを処理ユニット904に提供する。システムバス908は、多岐にわたる市販のバスアーキテクチャのうちの任意のものを用いてメモリバス（メモリコントローラを有するかまたは有しない）、周辺バス、およびローカルバスに更に相互接続することができるいくつかのタイプのバス構造のうちの任意のものとすることができる。インタフェースアダプタは、スロットアーキテクチャを介してシステムバス908に接続することができる。例示的なスロットアーキテクチャは、限定ではないが、アクセラレーテッドグラフィックスポート（AGP）、カードバス、（拡張）業界標準アーキテクチャ（（E）ISA）、マイクロチャネルアーキテクチャ（MCA）、NuBus、周辺コンポーネント相互接続（拡張）（PCI（X））、PCIエクスプレス、パーソナルコンピュータメモ리카ード国際組織（PCMCIA）等を含むことができる。

10

【0164】

コンピューティングアーキテクチャ900は、様々な製造品を含むかまたは実装することができる。製造品は、ロジックを記憶するためのコンピュータ可読記録媒体を含むことができる。コンピュータ可読記録媒体の例は、揮発性メモリまたは不揮発性メモリ、取外し可能または非取外し可能メモリ、消去可能または非消去可能メモリ、書き込み可能または書き換え可能メモリ等を含む、電子データを記憶することが可能な任意の有形媒体を含むことができる。ロジックの例は、ソースコード、コンパイルされたコード、解釈実行されたコード、実行可能コード、スタティックコード、ダイナミックコード、オブジェクト指向コード、視覚コード等の任意の適切なタイプのコードを用いて実施される実行可能なコンピュータプログラム命令を含むことができる。実施形態はまた、1つまたは複数のプロセッサによって読出しおよび実行されて、本明細書に記載の動作の実行を可能にすることができる、非一時的コンピュータ可読媒体に含まれるかまたは非一時的コンピュータ可読媒体上にある命令として少なくとも部分的に実施されることが可能である。

20

【0165】

システムメモリ906は、読出し専用メモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、ダイナミックRAM（DRAM）、ダブルデータレート（DDR）DRAM、同期DRAM（SDRAM）、スタティックRAM（SRAM）、プログラマブルROM（PROM）、消去可能なプログラマブルROM（EPROM）、電氣的に消去可能なプログラマブルROM（EEPROM）、フラッシュメモリ、強誘電性ポリマーメモリ等のポリマーメモリ、オーボニックメモリ（ovonic memory）、相変化または強誘電性メモリ、シリコン-酸化物-窒化物-酸化物-シリコン（SONOS）メモリ、磁気カードまたは光カード、独立ディスクの冗長アレイ（RAID）ドライブ等のデバイスのアレイ、ソリッドステートメモリデバイス（例えば、USBメモリ、ソリッドステートドライブ（SSD）および情報を記憶するのに適した任意の他のタイプの記録媒体等の1つまたは複数の高速メモリユニットの形態の様々なタイプのコンピュータ可読記録媒体を含むことができる。図9に示す例示される実施形態では、システムメモリ906は、不揮発性メモリ910および／または揮発性メモリ912を含むことができる。基本入出力システム（BIOS：Basic Input／Output System）を不揮発性メモリ910に記憶することができる。

30

40

【0166】

コンピュータ902は、内部（または外部）ハードディスクドライブ（HDD）914、取外し可能な磁気ディスク918に対し読出しまたは書き込みを行うための磁気フロッピー（登録商標）ディスクドライブ（FDD）916、および取外し可能な光ディスク922（例えば、CD-ROMまたはDVD）に対し読出しまたは書き込みを行うための光ディスクドライブ920を含む1つまたは複数の低速メモリユニットの形態で様々なタイプのコンピュータ可読記録媒体を備えることができる。HDD914、FDD916および光ディスクドライブ920は、それぞれHDDインタフェース924、FDDインタフ

50

ェース 926、および光ドライブインタフェース 928 によってシステムバス 908 に接続されることが可能である。外部ドライブ実装のための HDD インタフェース 924 は、ユニバーサルシリアルバス (USB) および IEEE 1394 インタフェース技術の少なくとも一方または双方を含むことができる。

【0167】

ドライブおよび関連するコンピュータ可読媒体は、データ、データ構造、コンピュータ実行可能命令等の揮発性記録および／または不揮発性記録を提供する。例えば、オペレーティングシステム 930、1 つまたは複数のアプリケーションプログラム 932、他のプログラムモジュール 934 およびプログラムデータ 936 を含む複数のプログラムモジュールがドライブおよびメモリユニット 910、912 に記憶され得る。1 つの実施形態では、1 つまたは複数のアプリケーションプログラム 932、他のプログラムモジュール 934、およびプログラムデータ 936 は、例えば、消費者・企業間のメッセージングシステム 100 の様々なアプリケーションおよび／またはコンポーネントを含むことができる。

10

【0168】

ユーザは、1 つまたは複数の有線／無線入力デバイス、例えば、キーボード 938、およびマウス 940 等のポインティングデバイスを通じてコンピュータ 902 にコマンドおよび情報を入力することができる。他の入力デバイスは、マイクロフォン、赤外線 (IR) リモートコントロール、無線周波数 (RF) リモートコントロール、ゲームパッド、スタイラスペン、カードリーダー、 dongle、指紋リーダー、グローブ、グラフィックタブレット、ジョイスティック、キーボード、網膜リーダー、タッチスクリーン (例えば、容量型、抵抗型等)、トラックボール、トラックパッド、センサ、スタイラス等を含むことができる。これらのおよび他の入力デバイスは、多くの場合に、システムバス 908 に結合された入力デバイスインタフェース 942 を通じて処理ユニット 904 に接続されるが、パラレルポート、IEEE 1394 シリアルポート、ゲームポート、USB ポート、IR インタフェース等の他のインタフェースによって接続されてもよい。

20

【0169】

モニター 944 または他のタイプの表示デバイスも、ビデオアダプタ 946 等のインタフェースを介してシステムバス 908 に接続される。モニター 944 は、コンピュータ 902 に対し内部または外部にあり得る。モニター 944 に加えて、コンピュータは通常、スピーカ、プリンタ等の他の周辺出力デバイスを備える。

30

【0170】

コンピュータ 902 は、リモートコンピュータ 948 等の 1 つまたは複数のリモートコンピュータへの有線および／または無線通信を介して論理接続を用いてネットワーク化された環境において動作することができる。リモートコンピュータ 948 は、ワークステーション、サーバコンピュータ、ルータ、パーソナルコンピュータ、ポータブルコンピュータ、マイクロプロセッサに基づく娯楽機器、ピアデバイス、または他の共通ネットワークノードであり得、通常、コンピュータ 902 について記載した要素のうちの多くまたは全てを備えるが、簡潔にするために、メモリ／記録デバイス 950 のみが示されている。描かれる論理接続は、ローカルエリアネットワーク (LAN) 952 および／またはより大きなネットワーク、例えば広域ネットワーク (WAN) 954 への有線／無線接続を含む。そのような LAN および WAN ネットワーキング環境は、事務所および会社において一般的であり、イントラネット等の、企業規模のコンピュータネットワークを容易にする。これらは全て、グローバル通信ネットワーク、例えばインターネットに接続することができる。

40

【0171】

LAN ネットワーキング環境において用いられるとき、コンピュータ 902 は、有線および／または無線通信ネットワークインタフェースまたはアダプタ 956 を通じて LAN 952 に接続される。アダプタ 956 は、アダプタ 956 の無線機能と通信するためにアダプタ 956 上に配置された無線アクセスポイントを含んでもよい LAN 952 への有線

50

および／または無線通信を容易にすることができる。

【0172】

WANネットワーク環境で使用される場合、コンピュータ902は、モデム958を含むことができ、またはWAN954上の通信サーバに接続され得るか、またはインターネットなどによってWAN954上で通信を確立するための他の手段を有する。内部または外部の、有線および／または無線デバイスであり得るモデム958は、入力デバイスインタフェース942を介してシステムバス908に接続する。ネットワーク化された環境では、コンピュータ902について述べられたプログラムモジュールまたはその一部をリモートメモリ／記録デバイス950に記憶することができる。示されるネットワーク接続は例示であり、コンピュータ間で通信リンクを確立する他の手段が用いられてもよいことが理解されるであろう。

10

【0173】

コンピュータ902は、IEEE802系規格を用いて、無線通信（例えば、IEEE802.9オーバーザエアー変調技法）において動作可能に配置される無線デバイス等の、有線および無線デバイスまたはエンティティと通信するように動作可能である。これは、少なくとも、中でも、Wi-Fi（または無線フィデリティ）、WiMaxおよびBLUETOOTH（登録商標）の無線通信技術を含む。このため、この通信は従来のネットワークと同じように予め定義された通信構造であり得るか、または、単に少なくとも2つのデバイスの間におけるアドホック通信であり得る。Wi-Fiネットワークは、安全で、信頼性が高く、高速な無線接続を提供するIEEE802.9x（a、b、g、n等）と称される無線技術を用いる。Wi-Fiネットワークはコンピュータを互いに、インターネットに、および有線ネットワーク（IEEE802.3関連の媒体および機能を用いる）に接続するのに用いられ得る。

20

【0174】

図10は、上記の様々な実施形態を実施するのに適した例示的な通信アーキテクチャ1000のブロック図を示す。この通信アーキテクチャ1000は、トランスミッタ、レシーバ、ランシーバ、無線通信デバイス、ネットワークインタフェース、ベースバンドプロセッサ、アンテナ、増幅器、フィルタ、電源等の様々な一般的な通信要素を含む。しかしながら、本発明の実施形態は通信アーキテクチャ1000による実施に限定されない。

【0175】

図10に示されるように、通信アーキテクチャ1000は1つまたは複数のクライアント1002およびサーバ1004を含む。クライアント1002は、クライアントデバイス120、受信者クライアントデバイス125、クライアントデバイス710およびクライアントデバイス820などを含むクライアントデバイスを実装することができる。サーバ1004は、消費者・企業間サービス110を集中または分散エンティティとして実装することができる。クライアント1002およびサーバ1004は、1つまたは複数のそれぞれのクライアントデータストア1008およびサーバデータストア1010に動作可能に接続されている。これらは、クッキーおよび／または関連付けられたコンテキスト情報等のそれぞれのクライアント1002およびサーバ1004にローカルな情報を記憶するために利用されることが可能である。

30

40

【0176】

クライアント1002およびサーバ1004は通信フレームワーク1006を用いて互いの間で情報を通信することができる。通信フレームワーク1006は任意の既知の通信技法およびプロトコルを実装することができる。通信フレームワーク1006は、パケット交換網（例えば、インターネット等の公衆ネットワーク、社内イントラネット等のプライベートネットワーク等）、回線交換網（例えば、公衆交換電話網）、またはパケット交換網と回線交換網との組合せ（適切なゲートウェイおよび変換器を備える）として実装されることが可能である。

【0177】

通信フレームワーク1006は、通信ネットワークを受け入れ、通信ネットワークと通

50

信し、通信ネットワークに接続するように構成される様々なネットワークインタフェースを実施することができる。ネットワークインタフェースは、特殊な形態の入出力インタフェースと見なされ得る。ネットワークインタフェースは、限定ではないが、直接接続、イーサネット（登録商標）（例えば、シック、シン、ツイストペア10/100/1000 Base T等）、トークンリング、無線ネットワークインタフェース、セルラーネットワークインタフェース、IEEE 802.11 a-x ネットワークインタフェース、IEEE 802.16 ネットワークインタフェース、IEEE 802.20 ネットワークインタフェース等を含む接続プロトコルを用いることができる。更に、様々な通信ネットワークタイプと関わるために複数のネットワークインタフェースが用いられ得る。例えば、ブロードキャスト、マルチキャストおよびユニキャストネットワークによる通信を可能にするために、複数のネットワークインタフェースが用いられることが可能である。処理要件がより高い速度およびより多くの容量を指示する場合、クライアント1002およびサーバ1004によって必要とされる通信帯域幅をプールし、負荷分散し、他の形で増大させるために、分散ネットワークコントローラアーキテクチャが同様に利用されることが可能である。通信ネットワークは、限定ではないが、直接相互接続、安全なカスタム接続、プライベートネットワーク（例えば、社内イントラネット）、公衆ネットワーク（例えば、インターネット）、パーソナルエリアネットワーク（PAN）、ローカルエリアネットワーク（LAN）、メトロポリタンエリアネットワーク（MAN）、インターネット上のノードとして動作しているミッション（OMNI）、広域ネットワーク（WAN）、無線ネットワーク、セルラーネットワークおよび他の通信ネットワークを含む有線および／または無線ネットワークのうちの任意の1つまたはそれらの組合せであり得る。

【0178】

図11は、ユーザ要求通信システム100のようなマルチキャリアOFDMシステムで使用するためのデバイス1100の一実施形態を示している。デバイス1100は、例えば、消費者・企業間のメッセージングシステム100を参照して説明したようなソフトウェアコンポーネント1160、および／または論理回路1135を実装することができる。論理回路1135は、消費者・企業間のメッセージングシステム100について説明したオペレーションを実行するための物理回路を含み得る。図11に示すように、デバイス1100は、無線インタフェース1110と、ベースバンド回路1120と、コンピューティングプラットフォーム1130とを備え得るが、ただし実施形態は、この構成に限定されない。

【0179】

デバイス1100は、完全に単一のデバイス内にあるなどの単一のコンピューティングエンティティにおいて、消費者・企業間のメッセージングシステム100および／または論理回路1135について、その構造および／またはオペレーションの一部またはすべてを具体化することができる。あるいは、デバイス1100は、クライアントサーバアーキテクチャ、三層アーキテクチャ、N層アーキテクチャ、密結合またはクラスタアーキテクチャ、ピアツーピアアーキテクチャ、マスタスレーブアーキテクチャ、共有データベースアーキテクチャ、および他のタイプの分散型システムのような分散システムアーキテクチャを用いて、消費者・企業間のメッセージングシステム100および／または論理回路1135について、その構造および／またはオペレーションの部分を複数のコンピューティングエンティティに分散させることができる。実施形態は、これに限定されない。

【0180】

1つの実施形態では、無線インタフェース1110は、（例えば、相補型符号変調（CK）および／または直交周波数分割多重（OFDM）シンボルを含む）シングルキャリアまたはマルチキャリア変調信号を送信および／または受信するように構成されたコンポーネントもしくはコンポーネントの組み合わせを有し得るが、ただし実施形態は、いずれかの特定の空中（over-the-air）インタフェースまたは変調方式に限定されない。無線インタフェース1110は、例えば、受信機1112、送信機1116、および／または周波数シンセサイザ1114を有し得る。無線インタフェース1110は、バ

イアスコントロール、水晶発振器、および／または1つまたは複数のアンテナ1118を有し得る。他の実施形態では、無線インタフェース1110は、必要に応じて、外部の電圧制御発振器（VCO）、弾性表面波フィルタ、中間周波数（IF）フィルタ、および／またはRFフィルタを使用することができる。可能なRFインタフェース構成は多様であるため、その広範な説明は省略する。

【0181】

ベースバンド回路1120は、受信信号および／または送信信号を処理するために無線インタフェース1110と通信することができ、例えば、受信信号をダウンコンバートするためのアナログデジタル変換器1122、信号を送信用にアップコンバートするためのデジタルアナログ変換器1124を有し得る。更に、ベースバンド回路1120は、個々の受信／送信信号のPHYリンク層処理のためのベースバンドまたは物理層（PHY）処理回路1156を有し得る。ベースバンド回路1120は、例えば、メディアアクセス制御（MAC）／データリンク層処理のための処理回路1128を有し得る。ベースバンド回路1120は、例えば、1つまたは複数のインタフェース1134を介した処理回路1128および／またはコンピューティングプラットフォーム1130による通信のためのメモリコントローラ1132を有し得る。

【0182】

いくつかの実施形態では、PHY処理回路1126は、無線フレームのような通信フレームを構築および／または分解するために、バッファメモリのような追加回路と組み合わせて、フレーム構築および／または検出モジュールを含み得る。代替的または追加的に、MAC処理回路1128は、これらの機能のうちのいくつかの処理を共有するか、またはこれらのプロセスをPHY処理回路1126とは独立に実行することができる。いくつかの実施形態では、MACおよびPHY処理を単一の回路に統合することができる。

【0183】

コンピューティングプラットフォーム1130は、デバイス1100にコンピューティング機能を提供し得る。図示のように、コンピューティングプラットフォーム1130は、処理コンポーネント1140を有し得る。デバイス1100は、ベースバンド回路1120に対して追加的または代替的に、処理コンポーネント1140を用いて、消費者・企業間のメッセージングシステム100および論理回路1135について、その処理オペレーションまたはロジックを実行することができる。処理コンポーネント1140（および／またはPHY1126および／またはMAC1128）は、各種ハードウェア要素、ソフトウェア要素、またはその両方の組み合わせを含み得る。ハードウェア要素の例は、デバイス、論理デバイス、コンポーネント、プロセッサ、マイクロプロセッサ、回路、プロセッサ回路、回路素子（例えば、トランジスタ、レジスタ、キャパシタ、インダクタ等）、集積回路、特定用途向け集積回路（ASIC）、プログラマブルロジックデバイス（PLD）、デジタルシグナルプロセッサ（DSP）、フィールドプログラマブルゲートアレイ（FPGA）、メモリユニット、論理ゲート、レジスタ、半導体デバイス、チップ、マイクロチップ、チップセット等を含むことができる。ソフトウェア要素の例は、ソフトウェアコンポーネント、プログラム、アプリケーション、コンピュータプログラム、アプリケーションプログラム、システムプログラム、ソフトウェア開発プログラム、マシンプログラム、オペレーティングシステムソフトウェア、ミドルウェア、ファームウェア、ソフトウェアモジュール、ルーチン、サブルーチン、機能、方法、プロシージャ、ソフトウェアインタフェース、アプリケーションプログラミングインタフェース（API）、命令セット、コンピューティングコード、コンピュータコード、コードセグメント、コンピュータコードセグメント、単語、値、シンボル、またはそれらの任意の組合せを含むことができる。実施形態がハードウェア要素を用いて実施されるか、かつ／またはソフトウェア要素を用いて実施されるかを判断することは、所望の計算速度、パワーレベル、耐熱性、処理サイクルバジェット、入力データレート、出力データレート、メモリリソース、データバス速度および他の設計または性能の制約等の任意の数の要因に従って、所与の実施形態様にとって望ましいとおりに変動することができる。

10

20

30

40

50

【0184】

コンピューティングプラットフォーム1130は、更に、他のプラットフォームコンポーネント1150を有し得る。他のプラットフォームコンポーネント1150は、1つまたは複数のプロセッサ、マルチコアプロセッサ、コプロセッサ、メモリユニット、チップセット、コントローラ、周辺機器、インタフェース、発振器、タイミングデバイス、ビデオカード、オーディオカード、マルチメディア入力／出力（I／O）コンポーネント（例えば、デジタルディスプレイ）、パワーサプライなどのような、一般的な計算要素を含む。メモリユニットの例として、限定するものではないが、リードオンリメモリ（ROM）、ランダムアクセスメモリ（RAM）、ダイナミックRAM（DRAM）、ダブルデータレートDRAM（DDRAM）、同期DRAM（SDRAM）、スタティックRAM（SRAM）、プログラマブルROM（PROM）、消去可能プログラマブルROM（EPROM）、電氣的消去可能プログラマブルROM（EEPROM）、フラッシュメモリ、強誘電性ポリマーメモリのようなポリマーメモリ、オーボニックメモリ（ovonic memory）、相変化または強誘電体メモリ、シリコン／酸化膜／窒化膜／酸化膜／シリコン（SONOS）メモリ、磁気または光カード、独立ディスクの冗長アレイ（RAID）ドライブのようなデバイスアレイ、ソリッドステートメモリデバイス（例えば、USBメモリ、ソリッドステートドライブ（SSD））、および情報を保存するのに適した他の任意のタイプの記憶媒体のような、1つまたは複数のより高速のメモリユニットの形態の各種タイプのコンピュータ可読およびマシン可読記憶媒体を含むことができる。

10

【0185】

デバイス1100は、例えば、ウルトラモバイルデバイス、モバイルデバイス、固定デバイス、マシンツーマシン（M2M）デバイス、携帯情報端末（PDA）、モバイルコンピューティングデバイス、スマートフォン、電話、デジタル電話、携帯電話、ユーザデバイス、電子書籍リーダー、ハンドセット、ワンウェイページャ、ツーウェイページャ、メッセージングデバイス、コンピュータ、パーソナルコンピュータ（PC）、デスクトップコンピュータ、ラップトップコンピュータ、ノートブックコンピュータ、ネットブックコンピュータ、ハンドヘルドコンピュータ、タブレットコンピュータ、サーバ、サーバアレイもしくはサーバファーム、ウェブサーバ、ネットワークサーバ、インターネットサーバ、ワークステーション、ミニコンピュータ、メインフレームコンピュータ、スーパーコンピュータ、ネットワーク機器、ウェブ機器、分散コンピューティングシステム、マルチプロセッサシステム、プロセッサベースのシステム、家庭用電子機器、プログラム可能な家庭用電子機器、ゲームデバイス、テレビ、デジタルテレビ、セットトップボックス、無線アクセスポイント、基地局、ノードB、発展型ノードB（eNB）、加入者局、モバイル加入者センター、無線ネットワークコントローラ、ルータ、ハブ、ゲートウェイ、ブリッジ、スイッチ、マシン、またはその組み合わせであり得る。従って、本明細書に記載のデバイス1100の機能および／または具体的な構成は、要求に応じて適宜、デバイス1100の種々の実施形態に含むことも、または省くこともできる。いくつかの実施形態では、デバイス1100は、3GPP LTE仕様および／またはWMAN用のIEEE1102.16規格および／または本明細書で引用される他の広帯域無線ネットワークの1つまたは複数に関連したプロトコルおよび周波数に準拠するように構成することができるが、実施形態は、この点に関して限定されない。

20

30

40

【0186】

デバイス1100の実施形態は、単入力単出力（SISO）アーキテクチャを用いて実現することができる。一方、いくつかの実現形態では、ビームフォーミングまたは空間分割多重アクセス（SDMA）のための適応アンテナ技術、および／またはMIMO通信技術を用いた送信および／または受信用のマルチアンテナ（例えば、アンテナ1118）を備えることができる。

【0187】

デバイス1100のコンポーネントおよび機能は、ディスクリット回路、特定用途向け集積回路（ASIC）、論理ゲート、および／またはシングルチップアーキテクチャの任

50

意の組み合わせを用いて実装することができる。更に、デバイス1100の機能は、必要に応じて適宜、マイクロコントローラ、プログラマブルロジックアレイ、および／またはマイクロプロセッサ、またはその任意の組み合わせを用いて実装することができる。なお、本明細書において、ハードウェア、ファームウェア、および／またはソフトウェア要素を、「ロジック」または「回路」と総称または個称する場合があるということに留意すべきである。

【0188】

図11のブロック図に示す例示的なデバイス1100は、多くの可能性のある実現形態の1つの機能的説明例を表し得るということは理解されるべきである。従って、添付の図面に示す機能ブロックの分割、欠落、または組み込みは、必ずしも、実施形態における、それらの機能を実装するためのハードウェアコンポーネント、回路、ソフトウェア、および／または要素の分割、欠落、または組み込みを推測させるものではない。

10

【0189】

コンピュータ実装方法は、ページスコープ識別子を、商業仲介サーバから、商業エンティティに関連付けられている商業フロントエンドアプリケーションに送信するステップであって、商業フロントエンドアプリケーションは、商業エンティティに関連付けられており、ページスコープ識別子は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別する、ステップと、商業連絡アプリケーションからのユーザ情報要求を、商業仲介サーバで受信するステップであって、商業連絡アプリケーションは、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられており、ユーザ情報要求は、ページスコープ識別子を求める、ステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して商業仲介サーバから商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信するステップと、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求を拒否するステップとを含み得る。

20

【0190】

コンピュータ実装方法は、商業フロントエンドアプリケーションおよび商業連絡アプリケーションが個別のアプリケーションを含むことをさらに含み得る。

30

コンピュータ実装方法は、商業フロントエンドアプリケーションおよび商業連絡アプリケーションが共通のアプリケーションであることをさらに含み得る。

【0191】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティが商業タイプに対応し、商業仲介サーバが複数の商業タイプをサポートし、商業タイプが複数の商業タイプのうちの1つを含むことをさらに含み得る。

【0192】

コンピュータ実装方法は、ユーザ情報データパッケージがユーザアカウントの氏名情報、ユーザアカウントの連絡先情報、およびユーザアカウントの経歴のうちの1つまたは複数を含むことをさらに含み得る。

40

【0193】

コンピュータ実装方法は、ユーザアカウントに関連して、商業エンティティに関連付けられているユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、ページスコープ識別子を生成するステップと、ユーザ・商業間の呼び出しに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

【0194】

コンピュータ実装方法は、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから、クライアントデバイスの商業エンティティ発見インタフェースに関連したユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを受信するステップと、ユーザから商業へのメ

50

ッセージスレッド呼び出しをクライアントデバイスから受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションからページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

【0195】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しは、クライアントデバイスでの商業エンティティのトリガ提案に関連する、ステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッド呼び出しをクライアントデバイスから受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

10

【0196】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティに関連付けられているウェブページのウェブプラグインに関連して、ユーザ・商業間の呼び出しを受信するステップと、ウェブプラグインに関連してユーザ・商業間の呼び出しを受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

【0197】

コンピュータ実装方法は、商業フロントエンドアプリケーションから電話番号記録を受信するステップと、電話番号記録とユーザアカウントとのマッチングを行うステップと、商業フロントエンドアプリケーションから受信した電話番号記録とユーザアカウントとが一致したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

20

【0198】

コンピュータ実装方法は、ユーザ・商業間の呼び出しを、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップであって、ユーザ・商業間の呼び出しは、クライアントデバイスによる視覚コードのキャプチャに関連し、視覚コードのキャプチャは、商業エンティティを識別する、ステップと、ユーザ・商業間の呼び出しをクライアントデバイスから受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

【0199】

コンピュータ実装方法は、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物への、ユーザアカウントに関連付けられているユーザアカウントのアクセスを受信するステップと、ユーザアカウントのアクセスを受信したことに応答して、商業フロントエンドアプリケーションにページスコープ識別子を送信するステップとをさらに含み得る。

30

【0200】

コンピュータ実装方法は、ページスコープ識別子に宛てられた商業からユーザへのメッセージを商業メッセージングアプリケーションから受信するステップと、ページスコープ識別子に基づいてユーザアカウントを識別するステップと、ユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスに商業からユーザへのメッセージを送信するステップとをさらに含み得る。

【0201】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドに宛てられたユーザから商業へのメッセージをユーザアカウントに関連付けられているクライアントデバイスから受信するステップと、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定をユーザの同意を示すように設定するステップとをさらに含み得る。

40

【0202】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージが、商業エンティティに関連付けられている商業メッセージングアプリケーションによってクライアントデバイスに送信された商業からユーザへのメッセージに対する応答を含むことをさらに含み得る。

【0203】

50

装置は、デバイス上のプロセッサ回路と商業仲介サーバとを備え得て、前記商業仲介サーバは、プロセッサ回路上で、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別するページスコープ識別子を、商業エンティティに関連付けられている商業フロントエンドアプリケーションに送信し、メッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関連付けられている商業連絡アプリケーションからの、ページスコープ識別子を求めるユーザ情報要求を商業仲介サーバで受信し、ユーザアカウントのページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定を決定し、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの同意を示す場合には、ユーザ情報要求に応答して、商業連絡アプリケーションにユーザ情報データパッケージを送信し、ページスコープ識別子についてのユーザアクセス同意設定がユーザの非同意を示す場合には、ユーザ情報要求を拒否するように作動する。装置は、本明細書に記載されるコンピュータ実装方法のいずれかを実装するように作動してもよい。

【0204】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティに関連付けられている商業メッセージングアプリケーションから、商業仲介サーバで、メッセージングシステムによるメッセージスレッドに宛てられた商業メッセージパッケージを受信するステップと、メッセージスレッドに関連して商業メッセージングアプリケーションの商業アクセス権限を決定するステップと、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを示す場合には、メッセージスレッドに関連付けられているクライアントデバイスに商業メッセージパッケージを送信し、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを拒否する場合には、商業メッセージパッケージを拒否するステップとを含み得る。

【0205】

コンピュータ実装方法は、メッセージスレッドはメッセージングシステムのユーザのユーザアカウントに関連付けられており、ユーザ識別子はユーザアカウントのページスコープ識別子を含み、ページスコープ識別子はメッセージングシステム内の商業エンティティの商業表現物に関してメッセージングシステムのユーザアカウントを識別するステップをさらに含み得る。

【0206】

コンピュータ実装方法は、商業アクセス権限が、商業メッセージパッケージに関連して受信される期間限定アクセストークンに従って決定されるステップをさらに含み得る。

コンピュータ実装方法は、商業アクセス権限が、商業メッセージパッケージに関連付けられているスポンサー付きメッセージ要求に従って決定されるステップをさらに含み得る。

【0207】

コンピュータ実装方法は、商業アクセス権限が、メッセージ制限ポリシーに従って決定されるステップをさらに含み得る。

コンピュータ実装方法は、自動サンプリングポリシーに基づいて自動サンプリングの商業アクセス権限を選択するステップをさらに含み得る。

【0208】

コンピュータ実装方法は、商業メッセージパッケージのキーワードベースのスパム分析を行うステップをさらに含み得る。

コンピュータ実装方法は、メッセージスレッドに関連してユーザブロックコマンドを受信するステップと、商業エンティティに関連して否定的な評判調整を登録するステップとをさらに含み得る。

【0209】

コンピュータ実装方法は、商業メッセージパッケージが商業エンティティに関連付けられているカスタムメッセージテンプレートに従って指定されるステップをさらに含み得る。

【0210】

コンピュータ実装方法は、商業メッセージングアプリケーションに関連してアプリケーション登録パッケージを受信するステップと、アプリケーション登録パッケージに応答して、商業仲介サーバへのアクセスのために商業メッセージングアプリケーションを登録するステップとをさらに含み得る。

【0211】

コンピュータ実装方法は、アプリケーション登録パッケージが、カスタムメッセージテンプレート、カスタムフォームテンプレート、およびカスタム行動喚起ボタンのうちの1つまたは複数を定義することをさらに含み得る。

【0212】

コンピュータ実装方法は、クライアントデバイスがメッセージングシステム内の商業エンティティにアクセスしたことに応答して、カスタムメッセージテンプレート、カスタムフォームテンプレート、およびカスタム行動喚起ボタンのうちの1つまたは複数をクライアントデバイスに送信するステップをさらに含み得る。

【0213】

コンピュータ実装方法は、アプリケーション登録パッケージがカスタム行動喚起ボタンを定義し、カスタム行動喚起ボタンが視覚的表現情報および起動応答情報を含み、起動応答情報はユニフォームリソースロケータ、アプリケーションリンクおよびメッセージング呼び出しのうちの1つまたは複数を含むことをさらに含み得る。

【0214】

コンピュータ実装方法は、アプリケーション登録パッケージが、メッセージスレッドのカスタムようこそテキストメッセージ、メッセージスレッドのカスタム開始行動喚起ボタン、メッセージスレッドの1つまたは複数のカスタム常駐行動喚起ボタン、および対話を開始するための1つまたは複数のカスタムダイナミックトリガのうちの1つまたは複数を定義することをさらに含み得る。

【0215】

装置は、デバイス上のプロセッサ回路と商業仲介サーバとを備え得て、前記商業仲介サーバは、プロセッサ回路上で、商業エンティティに関連付けられている商業メッセージングアプリケーションから、メッセージングシステムによるメッセージスレッドに宛てられた商業メッセージパッケージを受信するステップと、メッセージスレッドに関連して商業メッセージングアプリケーションの商業アクセス権限を決定するステップと、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを示す場合には、メッセージスレッドに関連付けられているクライアントデバイスに商業メッセージパッケージを送信するステップと、商業アクセス権限がメッセージスレッドへのアクセスを拒否する場合には、商業メッセージパッケージを拒否するステップを行うように作動する。装置は、本明細書に記載されるコンピュータ実装方法のいずれかを実装するように作動してもよい。

【0216】

コンピュータ実装方法は、メッセージングシステムにより商業エンティティに関連付けられている、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザインタフェース選択をクライアントデバイスで、受信するステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを表示するステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを介してユーザから商業へのメッセージを受信するステップと、メッセージングシステムを介して商業エンティティにユーザから商業へのメッセージを送信するステップとを含み得る。

【0217】

コンピュータ実装方法は、メッセージングシステムを介して商業エンティティから商業からユーザへのメッセージを受信するステップと、クライアントデバイスにユーザから商業へのメッセージスレッドに関連して商業からユーザへのメッセージを表示するステップとをさらに含み得る。

【0218】

10

20

30

40

50

コンピュータ実装方法は、商業からユーザへのメッセージが商業エンティティに関連付けられているカスタムメッセージテンプレートに従って定義されることをさらに含み得る。

【0219】

コンピュータ実装方法は、商業からユーザへのメッセージがメッセージングシステムに登録されている商業メッセージングアプリケーションから受信され、商業メッセージングアプリケーションは商業エンティティに関連付けられており、カスタムメッセージテンプレートは商業メッセージングアプリケーションのためにメッセージングシステムに登録されていることをさらに含み得る。

【0220】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースが商業エンティティのカスタム行動喚起ボタンを含むことをさらに含み得て、カスタム行動喚起ボタンのユーザの行動喚起ボタンの起動を受信するステップと、カスタム行動喚起ボタンのユーザの行動喚起ボタンの起動を受信したことに応答して、ユーザから商業へのメッセージを生成するステップとをさらに含む。

【0221】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースが、メッセージスレッドのカスタムようこそテキストメッセージと、メッセージスレッドのカスタム開始行動喚起ボタンと、メッセージスレッドの1つまたは複数のカスタム常駐行動喚起ボタンと、対話を開始するための1つまたは複数のカスタムトリガとのうちの1つまたは複数を含むことをさらに含み得る。

【0222】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージスレッドがユーザアカウントに関連付けられていることをさらに含み得て、クライアントデバイスにユーザ・商業間発見インタフェースを表示するステップをさらに備え、ユーザ・商業間発見インタフェースは複数のユーザ・商業間の選択肢案を備えており、複数のユーザ・商業間の選択肢案はユーザアカウントのプロフィール情報および1つまたは複数の商業エンティティの販促検討情報のうちの1つまたは複数に従って選択される。

【0223】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージに関連して商業エンティティにユーザクレデンシャルを送信するステップをさらに含み得る。

コンピュータ実装方法は、商業エンティティがクライアントデバイスのローカルアプリケーションに関連付けられていることをさらに含み得て、ローカルアプリケーション内のディープリnkを介してローカルアプリケーションからユーザクレデンシャルを受信するステップをさらに含む。

【0224】

装置は、デバイス上のプロセッサ回路と商業仲介サーバとを備え得て、前記商業仲介サーバは、プロセッサ回路上で、クライアントデバイスでメッセージングシステムにより商業エンティティに関連付けられているユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザインタフェース選択を受信するステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを表示するステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッドのユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースを介して、ユーザから商業へのメッセージを受信するステップと、メッセージングシステムを介して商業エンティティにユーザから商業へのメッセージを送信するステップとを行うように作動する。

【0225】

コンピュータ実装方法は、クライアントデバイスでユーザ間メッセージスレッドインタフェースの商業インタフェース制御部選択を受信するステップを備え、前記ユーザ間メッセージスレッドはメッセージングシステムにより複数のユーザのユーザ間メッセージスレッドに関連付けられており、さらに、ユーザ間メッセージスレッドインタフェースに関連

10

20

30

40

50

して、複数の商業構成選択肢を含む商業インタフェースを表示するステップと、商業インタフェースに関連して商業選択肢共有制御部選択を受信するステップと、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有するステップとを含み得る。

【0226】

コンピュータ実装方法は、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有するステップが、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージとしてユーザ間メッセージスレッドに投稿するステップを含むことをさらに含み得る。

【0227】

コンピュータ実装方法は、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有するステップが、商業構成選択肢投票をユーザ間メッセージスレッドに提出するステップを含むことをさらに含み得る。

10

【0228】

コンピュータ実装方法は、商業構成選択肢投票の投票結果情報を受信するステップと、商業構成選択肢投票の投票結果情報を表示するステップとをさらに含み得る。

コンピュータ実装方法は、商業構成選択肢投票の投票結果情報を、商業インタフェースに複数の商業構成選択肢に関連して表示することをさらに含み得る。

【0229】

コンピュータ実装方法は、投票結果情報が、複数の商業構成選択肢のうちの1つに対応する当選選択肢を含むことをさらに含み得て、当選インジケータを商業インタフェースの複数の商業構成選択肢のディスプレイに、当選選択肢に関連して表示するステップをさらに含む。

20

【0230】

コンピュータ実装方法は、商業インタフェースが商業エンティティに関連付けられており、複数の商業構成選択肢が、商業インタフェースについて、ユーザ間メッセージスレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうちの1つまたは複数に従って選択されることをさらに含み得る。

【0231】

コンピュータ実装方法は、商業インタフェースが商業エンティティに関連付けられており、複数の商業構成選択肢が、商業インタフェースで、ユーザ間メッセージスレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうちの1つまたは複数に従ってランク付けされることをさらに含み得る。

30

【0232】

コンピュータ実装方法は、商業インタフェースが商業エンティティに関連付けられており、商業インタフェース制御部選択が商業インタフェース制御部に関するものであることをさらに含み得て、ユーザ間メッセージスレッドのメッセージスレッドのコンテキストおよび商業エンティティとの販促検討取引のうちの1つまたは複数に応答して、商業インタフェース制御部を表示するステップをさらに含む。

【0233】

コンピュータ実装方法は、商業インタフェース制御部を表示するステップが、ユーザ間メッセージスレッドで検出されたトリガおよび発見制御部選択のうちの1つまたは複数に

40

応答したものであることをさらに含み得る。

【0234】

コンピュータ実装方法は、商業インタフェースが商業エンティティに関連付けられていることをさらに含み得て、商業インタフェースを介して商業選択肢選択を受信するステップと、クライアントデバイスからメッセージングシステムを介して商業エンティティに商業構成コマンドを送信するステップとをさらに含む。

【0235】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティからメッセージングシステムを介してユーザ間メッセージスレッドのメッセージを受信するステップと、ユーザ間メッセージスレッドに関連してユーザ間メッセージスレッドのメッセージを記憶するステップと、ユーザ間

50

メッセージスレッドインタフェースにユーザ間メッセージスレッドのメッセージを表示するステップとをさらに含み得る。

【0236】

コンピュータ実装方法は、商業エンティティからメッセージングシステムを介してユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを受信するステップと、ユーザから商業へのメッセージスレッドに関連してユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを記憶するステップとをさらに含み得る。

【0237】

コンピュータ実装方法は、ユーザから商業へのメッセージスレッドインタフェースにユーザから商業へのメッセージスレッドのメッセージを表示するステップをさらに含み得る。

10

【0238】

装置は、デバイス上のプロセッサ回路と商業仲介サーバとを備え得て、前記商業仲介サーバは、プロセッサ回路上で、クライアントデバイスでユーザ間メッセージスレッドインタフェースの商業インタフェース制御部選択を受信するステップを行うように作動し、ユーザ間メッセージスレッドはメッセージングシステムにより複数のユーザのユーザ間メッセージスレッドに関連付けられており、さらに、ユーザ間メッセージスレッドインタフェースに関連して、複数の商業構成選択肢を含む商業インタフェースを表示するステップと、商業インタフェースに関連して商業選択肢共有制御部選択を受信するステップと、複数の商業構成選択肢をユーザ間メッセージスレッドと共有するステップとを行うように作動する。装置は、本明細書に記載されるコンピュータ実装方法のいずれかを実装するように作動してもよい。

20

【0239】

少なくとも1つのコンピュータ可読記録媒体は、実行されると、本明細書に記載のコンピュータ実装方法のいずれかをシステムに実行させる命令を含むことができる。

いくつかの実施形態は、「1つの実施形態」または「実施形態」という表現と、それらの派生語とを用いて説明され得る。これらの用語は、実施形態に関して説明される特定の特徴、構造または特性が少なくとも1つの実施形態に含まれることを意味している。本明細書の様々な箇所に現れる「1つの実施形態において」というフレーズは、必ずしも全てが同じ実施形態を指しているわけではない。更に、いくつかの実施形態は、「結合された」および「接続された」という表現と、それらの派生語とを用いて説明され得る。これらの表現は必ずしも互いの同義語として意図されているわけではない。例えば、いくつかの実施形態は、「接続された」および／または「結合された」という表現を用いることにより、2つ以上の要素が直接物理的にまたは電氣的に相互接触していることを示すように説明され得る。一方、「結合された」という用語は、2つ以上の要素が互いに直接接触していないが、それでも互いに協働または相互作用していることを意味する場合もある。

30

【0240】

本明細書において用いられる表記および専門用語を全体的に参照すると、本明細書における詳細な説明は、コンピュータまたはコンピュータのネットワーク上で実行されるプログラムプロシージャの観点で表され得る。これらのプロシージャに関する記載および表現は、当業者によって、その技術分野における他の当業者に自身の研究の本質を最も効果的に伝えるために用いられている。

40

【0241】

プロシージャとは、ここでは、また一般的に、所望の結果をもたらすオペレーションの首尾一貫したシーケンスであると考えられる。これらのオペレーションは、物理的量の物理的操作を必要とするものである。必須ではないが通例、これらの量は、記憶、転送、組合せ、比較および他の形で操作されることが可能な電気信号、磁気信号または光信号の形態をとる。場合によっては、主に一般的用法の理由から、これらの信号を、ビット、値、要素、シンボル、文字、語、数等と呼ぶことが好都合であることがわかっている。しかしながら、これらの用語および同様の用語は全て適切な物理的量に関連付けられ、これらの

50

量に適用される好都合なラベルにすぎないことに留意されたい。

【0242】

更に、実行される操作は、多くの場合、人間のオペレータによって実行される知的オペレーションに一般的に関連付けられる、追加または比較等の用語で参照される。1つまたは複数の実施形態の一部を形成する、本明細書に説明されるオペレーションのいずれにおいても、人間のオペレータのそのような能力は必要でないか、ほとんどの場合に望ましくない。むしろ、オペレーションは機械オペレーションである。様々な実施形態のオペレーションを実行するための有用な機械は、汎用デジタルコンピュータまたは同様のデバイスを含む。

【0243】

様々な実施形態は、これらのオペレーションを実行するための装置またはシステムにも関する。この装置は、必要とされる目的のために特に構築されることが可能であるか、またはコンピュータに記憶されるコンピュータプログラムによって選択的にアクティベートまたは再構成される汎用コンピュータを含むことができる。本明細書において提示されるプロシージャは、特定のコンピュータまたは他の装置に本質的に関係しない。様々な汎用機械は、本明細書における教示に関連して書かれたプログラムと共に用いられ得るか、または、必要とされる方法ステップを実行する、より特殊な装置を構築することが好都合であるとわかる場合がある。様々なこれらの機械のために必要とされる構造は、与えられる説明から明らかとなるであろう。

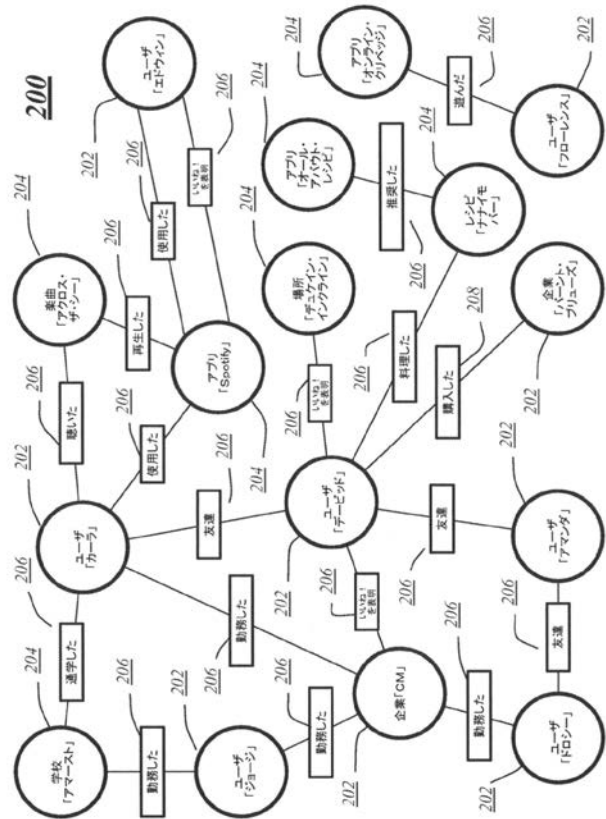
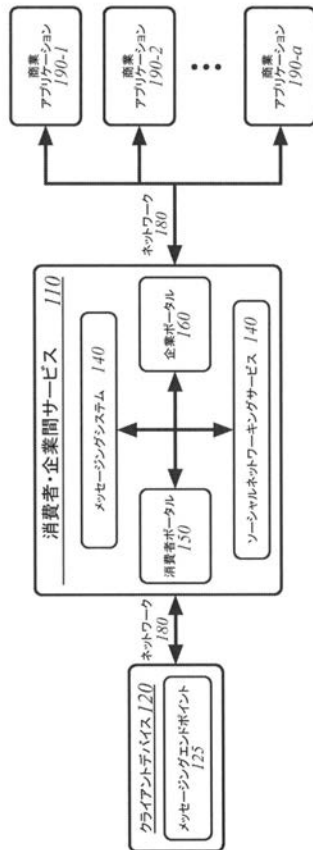
【0244】

本開示の要約書は、読み手が技術的開示の本質を迅速に理解できるようにするために提供されていることを強調しておく。本要約書は、特許請求の範囲の範囲又は意味を解釈又は限定するために使用するものではないとの理解に基づいて提出されている。更に、上記した「発明を実施するための形態」においては、開示を効率化するために様々な特徴がまとめて単一の実施形態にされていることを見てとることができる。このような開示方法は、特許請求される実施形態が各請求項に明示的に記された特徴以外のものを必要とする意図を表していると解釈されるべきではない。むしろ、以下の特許請求の範囲が表しているように、本発明の主題は、開示されている単一の実施形態の全特徴よりも少ない特徴にある。このため、以下の特許請求の範囲は本明細書において「発明を実施するための形態」に組み込まれ、各請求項は独立した1つの実施形態に基づく。添付の特許請求の範囲において、用語「含む (including)」および「において (in which)」は、それぞれの用語「含む (comprising)」および「において (wherein)」の平易な英語の同義語として用いられる。「第1の」、「第2の」、「第3の」等の用語は単にラベルとして用いられており、それらの対象物に数的限定を課すことを意図したものではない。

【0245】

上記で説明したものは、開示されているアーキテクチャの例を含む。当然ながら、コンポーネントおよび／または方法の全ての考え得る組合せを記載することは不可能であるが、当業者であれば、多くの更なる組合せおよび置き換えが可能であることを認識することができる。したがって、新規のアーキテクチャは、添付の特許請求の範囲の趣旨および範囲内にある全ての変化、変更および変形を包含することが意図される。

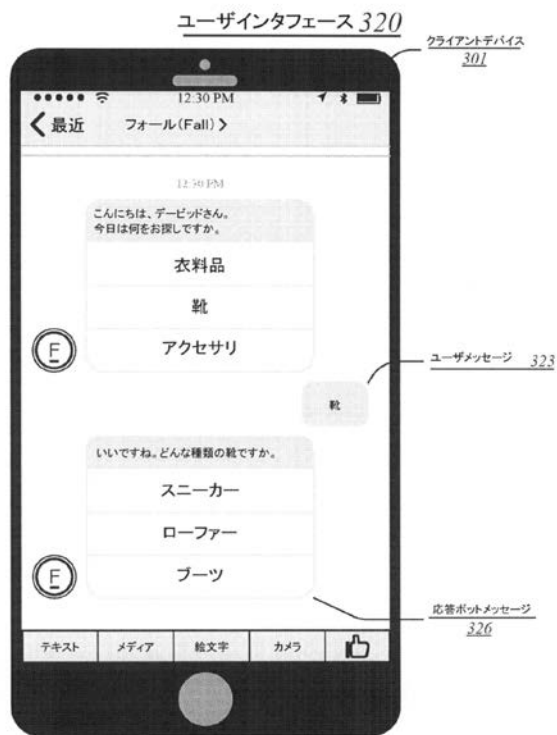
【図 2】



【図 3 B】



【図 3 C】



【図 3 D】



【図 3 E】



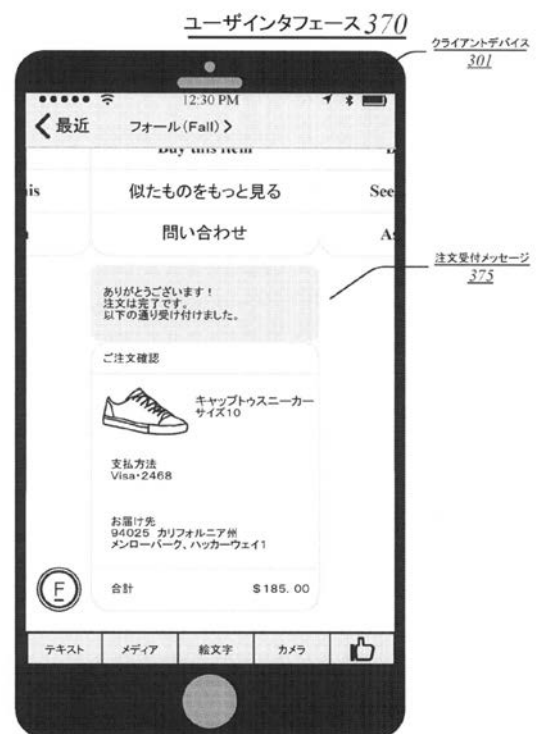
【図 3 F】



【図 3 G】



【図 3 H】



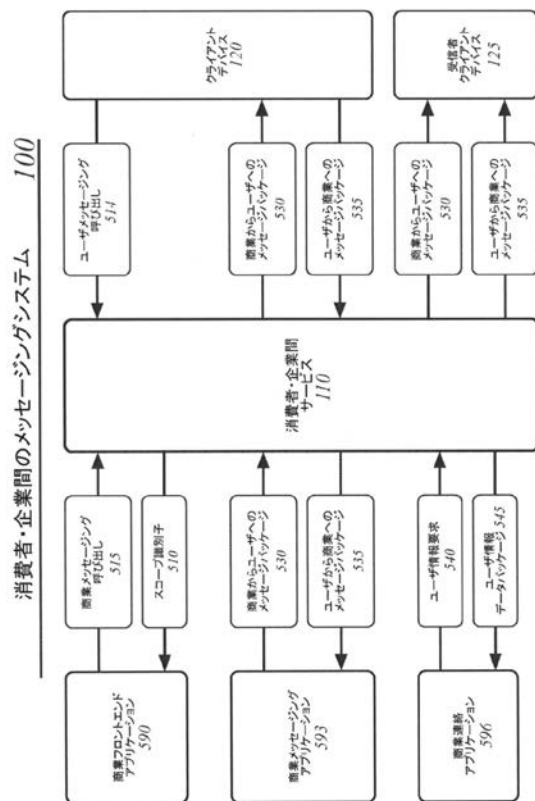
【図 4 A】



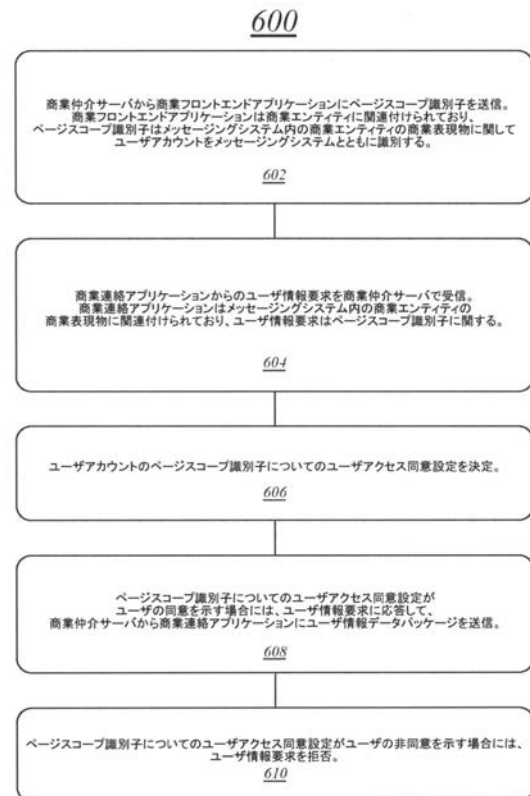
【図 4 B】



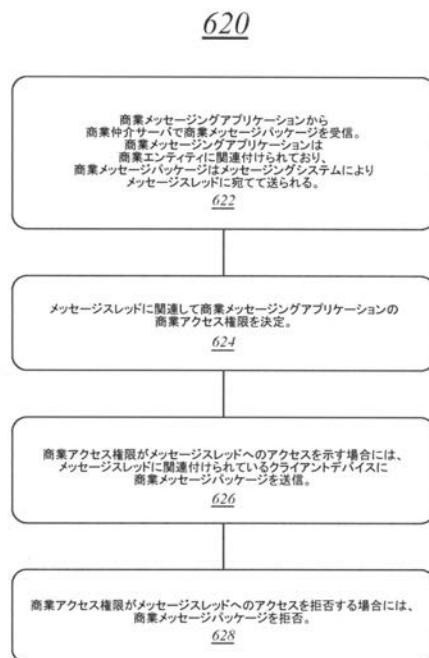
【図 5】



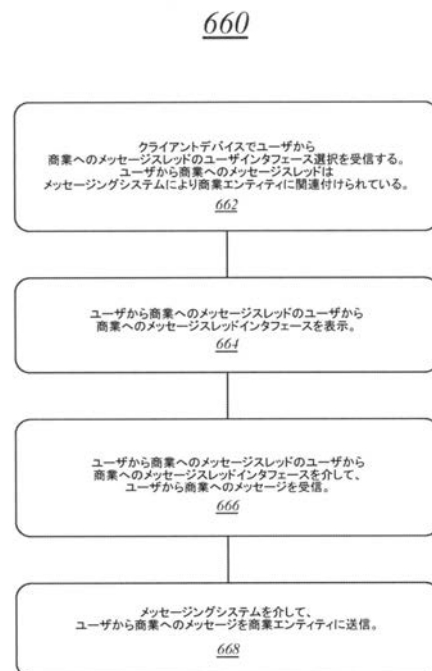
【図 6 A】



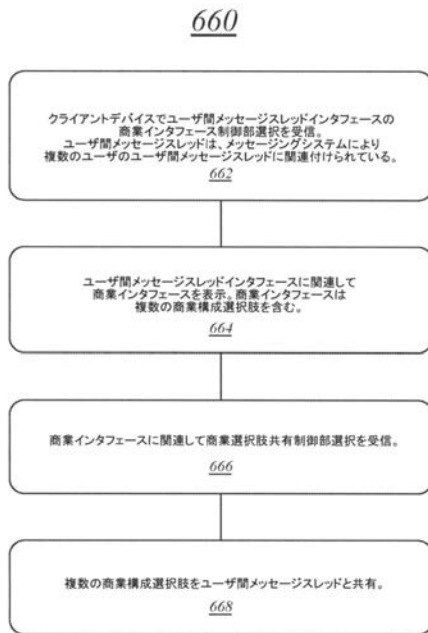
【図 6 B】



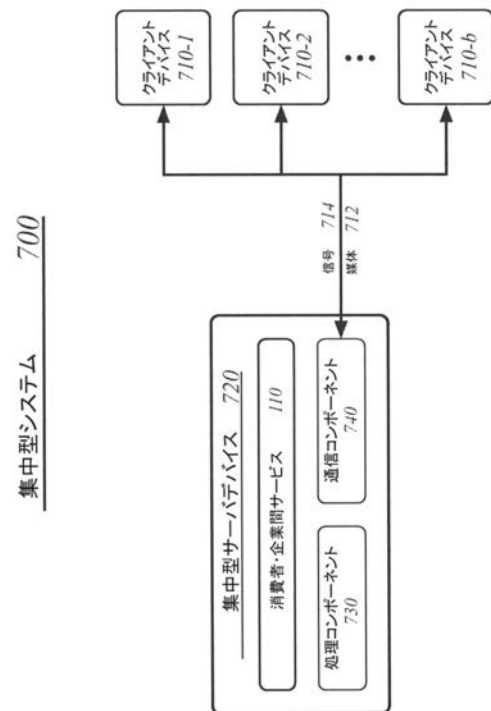
【図 6 C】



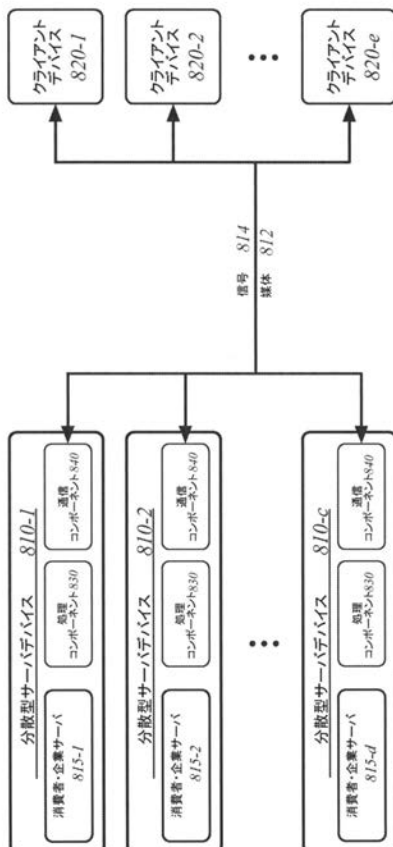
【図 6 D】



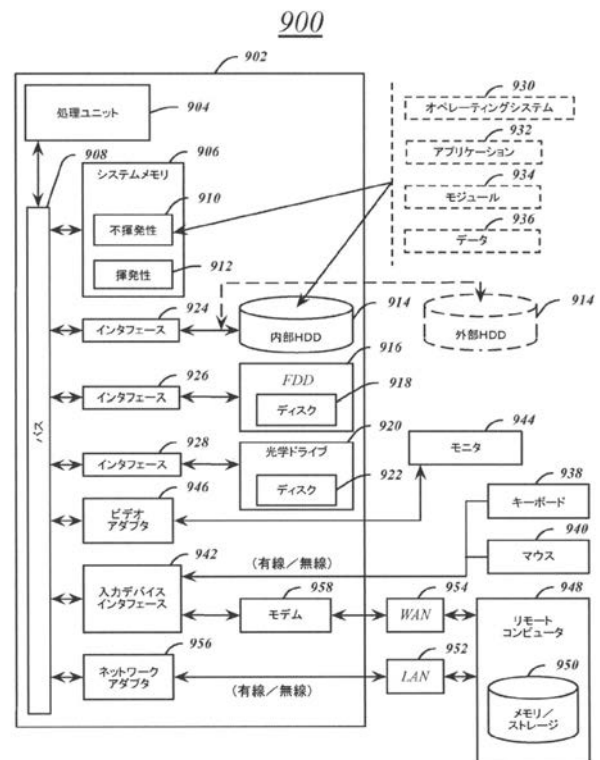
【図 7】



【図 8】

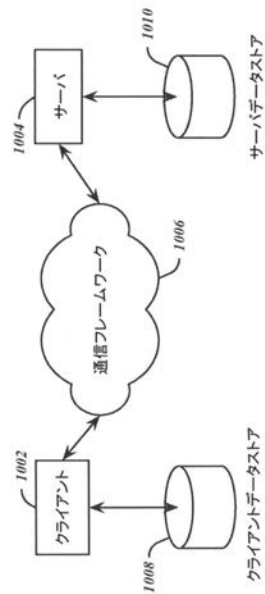
分散型システム 800

【図 9】

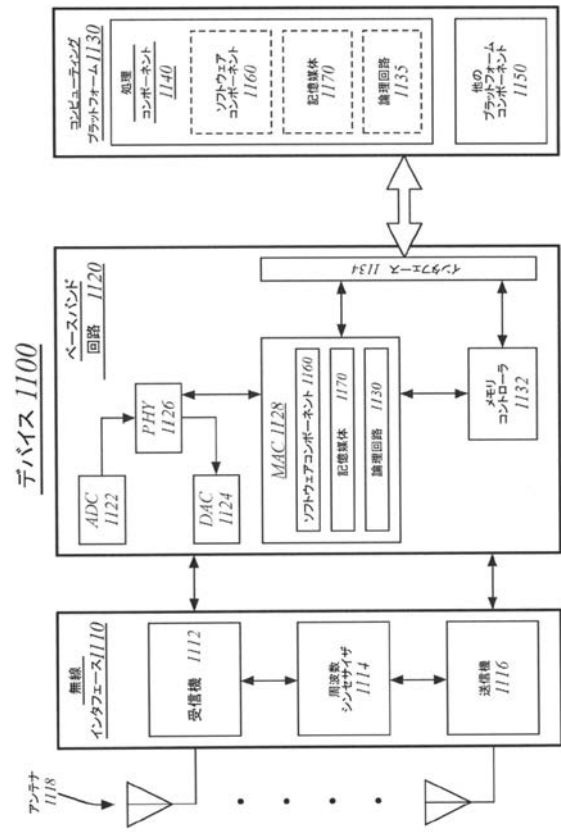


【図 10】

1000



【図 11】



【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/US16/69405

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

IPC - G06F 3/048, 15/16, 15/173, 17/30, 21/00; G06Q 30/02; H04L 9/32, 12/58, 29/06, 29/08 (2017.01)
CPC - G06F 17/30867; G06Q 10/10, 30/02, 30/06, 30/0601; H04L 63/08, 67/02, 67/04, 67/306, 69/329;
H04W 4/02, 12/06

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

See Search History document

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

See Search History document

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

See Search History document

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 2014/0189577 A1 (CANONICAL LIMITED) 03 July 2014; abstract; figure 1; paragraphs [0009], [0121], [0125], [0148], [0201], [0209], [0212], [0251]-[0252], [0298]-[0300], [0357]-[0358], [0406], [0433], [0450]-[0451], [0466], [0470], [0495].	1-23, 28-30
Y	US 2012/0096523 A1 (OLLILA, E et al.) 19 April 2012; abstract; figures 1-3, 4B, 5; paragraphs [0004]-[0005], [0025]-[0029], [0031], [0035], [0065], [0065], [0071], [0080], [0123].	1-23, 28-30
A	US 2011/0191416 A1 (GLAZER, D et al.) 04 August 2011; entire document.	1-23, 28-30

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"Z" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

01 March 2017 (01.03.2017)

Date of mailing of the international search report

17 MAR 2017

Name and mailing address of the ISA/

Mail Stop PCT, Attn: ISA/US, Commissioner for Patents
P.O. Box 1450, Alexandria, Virginia 22313-1450

Facsimile No. 571-273-8300

Authorized officer

Shane Thomas

PCT Helpdesk: 571-272-4300
PCT OSP: 571-272-7774

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ

(72)発明者 バンダルカール、アディティア ゴパール
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

(72)発明者 タルマー、ヨラム
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

(72)発明者 ゴールドバーグ、ジェレミー
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

(72)発明者 ラリオノフ、ミハイル
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

(72)発明者 リー、ジェシカ
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

(72)発明者 デミール、デニズ
アメリカ合衆国 94025 カリフォルニア州 メンロー パーク ウィロー ロード 160
1 フェイスブック、インク。内

Fターム(参考) 5B084 AA01 AA12 AA16 AA27 AA29 AA30 AB04 AB06 AB11 AB31
AB35 AB39 BA01 BB15 CA02 CA07 CB07 CB22 CC05 CC06
CC07 CC14 CD22 CE03 CE12 CF03 CF12 DB02 DB08 DC02
DC03 DC04 DC06 DC27 EA08 EA17
5L049 BB66 CC11